第６期美唄市総合計画

びばい未来交響プラン

施　策　評　価　表

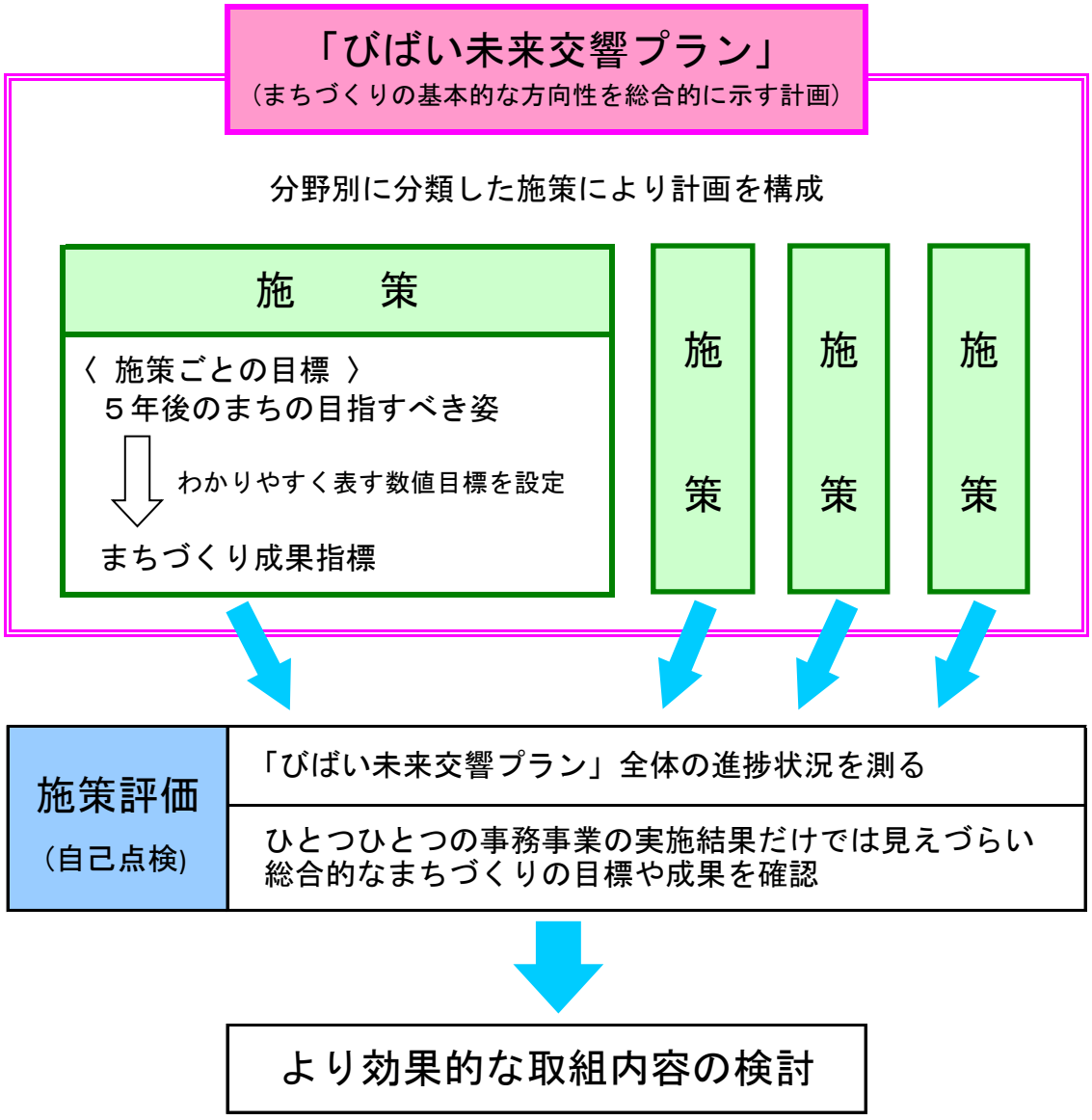
（進捗状況　平成28年度）

平成30年2月

びばい未来交響プラン施策評価

市の総合計画である「びばい未来交響プラン」後期基本計画（Ｈ２８～Ｈ３２年度）では、まちづくりの基本的な方向性を分野別に分類し計画を構成しており、この分類の単位を『施策』として位置付けています。それぞれの施策には、目標として５年後のまちの目指すべき姿を明示するとともに、目指すべき姿をわかりやすく表すための数値目標として「まちづくり成果指標」を設定しています。

施策評価は、「びばい未来交響プラン」を構成する各施策の目標、方向性、成果などを自己点検することで、①「びばい未来交響プラン」全体の進捗状況を測る　②ひとつひとつの事務事業の実施結果だけでは見えづらい総合的なまちづくりの目標や成果を確認する　③進捗状況を踏まえ、より効果的な取組内容を検討する　ための手段となります。



びばい未来交響プラン施策評価表の構成

評価対象期間	平成　　年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	
施策の柱	〔　〕
施　　策	(　)

【 主管課及び関係課 】

主管課：

関係課：

【 施策の目指すべき姿 】

美唄市総合計画「びばい未来交響プラン」後期基本計画（H28年度～H32年度）において、目標として施策ごとに設けた5年後（H32年度）のまちの目指すべき姿を記載しています。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

「施策の目指すべき姿」に到達するためには、どのようなことをしなければならないかという方向性を記載しています。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度
				H32	H○	H△	H◇	
成果指標		施策の目指すべき姿を数値目標で表しています。						
関連指標		施策の方向性を数値目標で表しています。						

【 施策の達成状況 】

目標（「施策の目指すべき姿」や「施策の方向性」など）に対する現在の達成状況を記載しています。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事　務　事　業　名	担当課	事業費（千円）（対象年度決算額）	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
	施策を構成する事務事業の一覧です。				

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標				
関連指標		まちづくり成果指標と関連指標の取得方法を記載しています。		

目　　次

１ 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり

〔１〕産業づくり

（１）農商工連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1ページ

（２）農業振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3ページ

（３）商工業振興 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7ページ

〔２〕にぎわいづくり

（４）観光・交流 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9ページ

（５）公共交通 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11ページ

（６）情報化推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13ページ

２ 人と文化を育み交流が広がるまちづくり

〔３〕人づくり

（７）子育て支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15ページ

（８）学校教育 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19ページ

（９）芸術・文化・生涯学習 ・・・・・・・・・・・・・・ 23ページ

(10) 男女共同参画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27ページ

(11) 平和施策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29ページ

３ 豊かな景観あるれるエコロジーなまちづくり

〔４〕環境づくり

(12) 自然保護 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31ページ

(13) 環境行動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33ページ

(14) ごみ処理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35ページ

〔５〕うるおいづくり

(15) 都市基盤整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37ページ

(16) 景観・緑づくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41ページ

４ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

〔６〕健康づくり

(17) 保健 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43ページ

(18) 地域医療 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45ページ

〔７〕福祉のまちづくり

(19) 障がい者福祉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47ページ

(20) 高齢者福祉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49ページ

５ 安全で安心して住めるまちづくり
〔８〕安全づくり
(21) 防災・防犯・交通安全 ・・・・・・・・・・・・・・・ 53ページ
(22) 消防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55ページ
〔９〕安心づくり
(23) 消費者保護 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57ページ
(24) 雇用対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59ページ
(25) コミュニティ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61ページ
６ みんなで力を合わせるまちづくり
〔10〕地域経営の確立
(26) 協働のまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63ページ

びばい未来交響プラン「まちづくり成果指標」一覧（再掲） ・・・65ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	１　人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	〔１〕産業づくり
施　　策	（１）農商工連携

【 主管課及び関係課 】

主管課：経済振興課

関係課：観光振興課、農政課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地元農産物を活用した特産品が美唄ファンの獲得につながる

　地元農産物などを活用した新しい商品やサービスが生まれ、生産者の顔が見える商品とその魅力を情報発信することで、マスコミ等の露出が増え、その結果、需要拡大と消費の定着につながり、さらに、美唄ファンの獲得や、美唄を来訪する方が増加することで、広く地域経済の活性化につながっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　産業間連携の取組

　新商品開発や新たなサービスの提供など、本市の「食」と「農」の魅力を生かしながら、様々な異業者による新たな発想や展開方法のコーディネートに努めるほか、試験研究機関等とも連携して、美唄の「食」を生かした商品の開発や6次化に向けた取組などを支援する。

２　販路拡大の取組

　農商工事業者が連携して、市外の展示会や物産イベントに参加するほか、タイや台湾などで実施する道産品・美唄産品の商談会を通じて販売促進を図るとともに、美唄特有の食資源の付加価値を高め、美唄ブランドとしてブラッシュアップを図る。また、市内では食のフリーマーケットやアンテナショップPiPa、市ホームページ、ポータルサイトPiPaの活用などにより、商品やサービスに関する情報発信を強化するとともに、個別のニーズに合わせた販路開拓のための営業活動をサポートするなど、開発商品が定着するよう支援する。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	1	新たに商品化された特産品数	農商工連携の取組の成果を、新たに商品化された特産品数で測る指標	15商品 H23～32の累積	7商品			46.7%
関連指標	1	農商工連携推進補助金交付団体数	美唄産の農作物を活用した商品開発のための試験研究や商品化までの調査研究及び販路開拓等の取組の状況を見る指標	15団体	1団体			6.7%
	2	物産イベント、商談会等参加回数	市内外での、一般消費者やバイヤー等への商品ＰＲ、販路拡大を目的とする活動の状況を見る指標	年3回以上	4回			133.3%

【 施策の達成(進捗)状況 】

食に対する安全・安心志向、健康志向の高まりや付加価値のある農産物・健康食品を求める消費者が増加する中、農産物の一大生産地である本市にとっては、良質な農産物の生産に加え、生産者・食品加工業・小売業・飲食店業などが連携し、地域の特色や強みを生かした新たな付加価値をもった加工品の開発、販売開拓を進めることが地域経済の循環を高め、地域全体の活性化につながる。

本市の現状として、農商工連携による新たな商品開発の動きは活発化してきているものの、継続した生産・販売が可能な商品化を目指すため、商品開発にかかるストーリーやコンセプトの明確化、大学・試験研究機関や専門家等との連携強化のほか、商品PRや販路開拓面について強化する取組が必要である。

農商工連携を推進するため平成23年度に「農商工連携推進助成制度」を創設し、平成28年度まで8団体が事業を実施し、米粉や大豆など美唄産農産物を活用した商品が計13品開発された。そのうち1年以上生産された商品で、現在も継続して生産している商品は7品ある。

平成28年度には、市主催の農商工連携ビジネスセミナーの開催や、補助率2分の1から3分の2に引き上げるなど補助制度を拡充し、美唄の農産物を使った新たな商品開発事業に取り組む事業者の支援を行った。

また、今後においても、さらなる農商工連携や6次産業化による商品開発を促進するため、こうした事業に対する助成等の支援を行うこととする。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	食にこだわったまちづくり推進事業	観光振興課	394	終了	事業完了
2	農商工連携推進助成事業	経済振興課	457	見直し	対象や目的変更

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	1	新たに商品化された特産品数	業務取得	美唄産農産物を活用して商品化され1年以上継続販売されている特産品の数(H23～32の累積)
関連指標	1	農商工連携推進補助金交付団体数	業務取得	農商工連携推進補助金交付団体数
	2	物産イベント、商談会等参加回数	業務取得	物産イベント、商談会等参加回数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	１　人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	〔１〕産業づくり
施　　策	（２）農業振興

【 主管課及び関係課 】

主管課：農政課

関係課：農林整備課、農地整備課、
農業委員会

【 施策の目指すべき姿 】

◎力強い農業が営まれ、市民や消費者から信頼される産地になる
　青年、女性などが参加し、安定した力強い農業経営により安全・安心な農産物を供給されるとともに、多面的機能が市民生活に潤いと憩いを提供し、市民や消費者から信頼される産地になる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　強い農業経営基盤づくり
　米、麦などの基幹作物や振興作物の安定生産を図っていくことを基本に、さらに所得の向上へつなげるため農協が振興作物に位置付けるアスパラガスやハスカップなどの一層の生産振興や、収益性の高い野菜や花き、さらには畜産の振興も図るなど新たな作物、形態も取り入れた経営の複合化を推進する。
　また、加工や産直販売、ブランド化など高付加価値化、差別化などを図る6次産業化の取組、先進農業技術の導入などを支援し、農業経営の体質強化と安定化を図っていく。
　生産性の向上と担い手農家への農地の集積など経営安定に資する基盤整備事業については、事業促進し、生産条件等の改善、向上を図るほか、農業用用排水路施設の長寿命化や必要な改修等が事業化されるよう国に働きかけるなど、安定的な農業生産が持続可能な環境づくりを進める。
　さらに、女性や若手農業者の経営感覚の向上や営農技術の向上、農業機械等の操作資格の取得などを支援するほか、新規就農につながる農業体験、農業研修のしくみづくりを進めていくこととし、これら各種の取組を本市の農業関係団体などと連携して推進していく。

２　消費者に信頼される産地づくり
　地元市民にも求められる安全・安心な農産物づくりを一層広めていくため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮の取組や環境保全型農業の取組を継続して支援するほか、それらの活動を通じて市民の美唄農業に対する理解促進を図り、市民が応援団となって美唄産農産物・美唄ブランドの農産物などのPRや地産地消に取り組む環境づくりを進めていく。
　また、食育の実践活動、都市と農村との交流などの場面でも市民や消費者、生産者との結びつきを深め、美唄市農業の情報発信に努めて、信頼され支持される産地として発展を目指していく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	2	農業総販売額	農業振興の成果を農産物の総販売額から見る指標	56億円	(H27) 54億円			96.4%
関連指標	3	認定農業者の割合	農業の担い手確保の状況を認定農業者の割合から見る指標	→ H25を維持 61%	71%			116.1%
	4	ほ場整備済面積	農業生産性向上の程度を、ほ場の整備済面積から見る指標	4,622ha	3,562ha			77.1%
	5	イエス・クリーン表示制度登録集団数	消費者に信頼される産地づくりの状況をクリーン農産物生産を行う集団数から見る指標	↗ H25より増やす 12集団	11集団			△ 1集団
	6	資源保全協力会	農業者と共に地域農地、農業施設の保全活動を行う組織数から見る指数	→ H25を維持 21組織	21組織			＋0組織

【 施策の達成(進捗)状況 】

本市農業・農村が将来にわたり持続的に発展していくため、「びばい未来交響プラン　後期基本計画」の目標年に合わせた新たな「美唄市農業ビジョン」を策定し、同ビジョンに掲げた施策の基本方針に基づき、「強い農業経営基盤づくりの推進」に向けて、各農協地区の地域農業再生協議会と連携し経営所得安定対策の取組を推進したほか、農協管内ごとに策定した「人・農地プラン」の見直し作業を行うとともに、このプランに位置付けられた中心経営体の経営改善の取組に必要な農業用施設等の整備をTPP関連対策事業を活用し支援したほか、新たに農業経営を開始する新規就農者へ「就農給付金を交付し、経営の早期安定化を支援した。

また、複合経営の維持、確立を図るため、これまでのハスカップ作付拡大への支援に加えて、アスパラガスの作付拡大・生産拡大に向けた支援をしたほか、鳥獣による農作物への被害防止の取組を引き続き推進した。

農地の整備については、大富第1地区、大富第2地区、大富第3地区、大富第4地区、北美唄地区、進徳一心第1地区、峰延第1地区で道営換地事業を実施したほか、事業実施に伴う農業者の負担軽減を図るため、中心経営体農地集積促進事業を実施するとともに、ほ場の補修や維持管理のための機械を機械利用組合に対し貸与したほか、国営美唄茶志内地区・美唄地区の国営換地事業を実施した。

内水排水機場や農業用排水路、農道などの土地改良財産の適切な維持管理に努めた。

「消費者に信頼される産地づくり」の推進に向けては、生産者が取り組む日本型直接支払(多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支払)の取組を国や道とともに支援したほか、北のクリーン農産物表示制度に基づく取組の推進を図るなど、環境に配慮した安全・安心で良質な農産物の生産に努めた。

今後も、多様な担い手による安定した農業経営の確立を図るため、基幹作物の振興や経営の複合化の推進、担い手の確保や農地利用集積・生産基盤の整備等の取組など経営基盤の強化や、自然環境などの地域資源を保全する取組を促進し、農業・農村の有する多面的機能を将来にわたって維持・発揮していくため、消費者から信頼される産地形成を推進していく。

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	水稲生産振興事業	農政課	705	現状維持	現行の内容が最適
2	畑作生産振興事業	農政課	17,364	現状維持	現行の内容が最適
3	農業振興事業	農政課	1,020	見直し	拡　充
4	農業経営改善推進事業	農政課	249	現状維持	法令等の定めあり
5	農業経営資金利子助成事業	農政課	5,625	現状維持	債務負担行為
6	中山間地域等直接支払事業	農政課	2,015	現状維持	法令等の定めあり
7	農業一般管理事務	農政課	885	現状維持	現行の内容が最適
8	小麦食害対策事業	農政課	658	見直し	方法の工夫・改善
9	鳥獣捕獲等事業	農政課	4,059	現状維持	現行の内容が最適
10	畜産一般振興事務	農政課	168	現状維持	現行の内容が最適
11	排水機場管理運営事業	農林整備課	22,468	見直し	方法の工夫・改善
12	農業排水管理等事業	農林整備課	8,709	現状維持	現行の内容が最適
13	農業用明渠排水及び支派線維持管理事業	農林整備課	18,667	見直し	拡　充
14	農業用排水路整備事業	農林整備課	4,172	見直し	拡　充
15	農道維持管理事業	農林整備課	2,081	見直し	拡　充
16	農道離着陸場管理運営事業	農林整備課	2,220	現状維持	現行の内容が最適
17	国営農業用水再編対策事業	農林整備課	21,852	現状維持	現行の内容が最適
18	国営造成施設管理体制整備促進事業	農林整備課	38,216	現状維持	現行の内容が最適
19	ほ場整備事業	農地整備課	2,033	現状維持	現行の内容が最適
20	21世紀高生産基盤整備促進対策事業(債)	農地整備課	5,066	現状維持	債務負担行為
21	食料・環境基盤緊急確立対策事業(債)	農地整備課	195	現状維持	債務負担行為

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
22	持続的農業・農村づくり促進特別対策事業(債)	農地整備課	750	現状維持	債務負担行為
23	道営換地計画受託事業	農地整備課	24,650	現状維持	現行の内容が最適
24	国営換地計画受託事業	農地整備課	5,569	現状維持	現行の内容が最適
25	土地改良センター運営事務	農地整備課	525	現状維持	現行の内容が最適
26	耕地利用高度化推進事業	農地整備課	14,541	現状維持	現行の内容が最適
27	利用権設定等促進事業	農委事務局	1,053	現状維持	法令等の定めあり
28	農業委員会事務	農委事務局	15,489	現状維持	法令等の定めあり
29	農業者年金基金受託事務	農委事務局	1,423	現状維持	法令等の定めあり
30	経営所得安定対策事業	農政課	13,806	現状維持	現行の内容が最適
31	多面的機能支払交付金事業	農林整備課	311,938	見直し	拡　充
32	環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	41,600	現状維持	法令等の定めあり
33	排水機場整備事業	農林整備課	18,954	見直し	拡　充
34	農業競争力基盤強化特別対策事業	農地整備課	17,785	現状維持	現行の内容が最適
35	国営区画整理推進調査受託事業	農地整備課	4,301	現状維持	現行の内容が最適
36	中心経営体農地集積促進事業	農地整備課	120,789	現状維持	現行の内容が最適
37	農地中間管理事業受託等事業	農政課	141	現状維持	法令等の定めあり
38	担い手確保・経営強化支援事業	農政課	30,000	終　了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	2	農業総販売額	業務取得	農作物ごとの10ａ当たり生産者販売額(国の交付金の一部を加算)に作付面積を乗じて算出した額 ※「北海道農林水産統計年報(総合編)」の数値を一部引用して算出している。本数値の算出に必要な全ての統計数値の発表は、生産年の2年後となる。
関連指標	3	認定農業者の割合	業務取得	認定農業者数
	4	ほ場整備済面積	業務取得	基盤整備済のほ場(水田)面積の累積
	5	イエス・クリーン表示制度登録集団数	業務取得	北海道が実施するイエス・クリーン農業表示制度に登録している集団数
	6	資源保全協力会	業務取得	資源保全協力会 組織数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	１　人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	〔１〕産業づくり
施　　策	（３）商工業振興

【 主管課及び関係課 】

主管課：経済振興課

【 施策の目指すべき姿 】

◎買い物をする人が増え、企業活動が活発に行われる
　市民が楽しく買い物ができる賑わいのあるまちになる。
　また、新製品や新技術が生まれるなど、企業活動が活発に行われ、環境にやさしい雪冷熱エネルギーの活用が広がる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　商業
　中心市街地での賑わい創出を図るための事業を支援するほか、国などが行っている商業施策などの情報提供を積極的に行うとともに、個性ある商店街づくりやインターネットによる販売など、消費者のニーズを捉えたサービス向上の取組を促進し、市民が楽しく買い物ができる、魅力ある商店街づくりと安定した経営ができる商業環境づくりを進める。

２　工業
　企業の経営基盤の強化を図るため、工場等の新設・増設等に対しての支援の継続や融資制度の貸付利率の緩和などのほか、美唄地域人材開発センターで行われる人材育成事業の支援の充実とともに、企業訪問などを通じ、様々な情報提供を行うなど、フォローアップの充実に努める。

３　企業誘致活動
　首都圏や関西圏などの企業訪問や展示会を通じて、ホワイトデータセンター構想や食料備蓄拠点構想のPRを強化するとともに、国や道の構想に連動し、早期実現に向けた要望活動を強化する。
　また、新産業の創造をめざす団体の活動支援や「ビジネス交流会」の実施など、企業同士の情報交換・交流活動を活発に行い、企業活動による新製品、新技術の開発支援や、起業を希望する人への支援を行うなど、企業間・異業種間の交流・連携が積極的に行える環境整備の推進や新たな産業おこしと雪冷熱エネルギーの活用による産業振興を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	3	工業出荷額	工業振興の成果を工業出荷額の総額で見る指標	192.0億円	158.7億円			82.7%
関連指標	7	企業数	企業活動の活性化の状況を、市内企業数から見る指標	60社	45社			△ 15社
	8	起業件数	新産業、ベンチャービジネス支援の成果を見る指標	6件 H23～32の累積	0件			0.0%
	9	立地企業数	企業立地活動の成果を測る指標	3社 H23～32の累積	3社			100.0%
	10	年間商品販売額	商業統計調査による市内の年間商品販売額で測る指標	↗ H25より増やす 226.1億円	200.0億円			88.5%

【 施策の達成(進捗)状況 】

人口減少に伴う消費購買力の減少やインターネット購入、さらに通信販売による購入など、消費者の購買形態が多様化しており、商業を取り巻く環境は年々厳しい状況となっている。これらの対応策として、指定管理者制度を活用し、西側商店街に駐車場機能を兼ね備えたイベント広場「まちなか交流広場」を設置し、買物客の誘導を図るとともに、商業団体が取り組む買物送迎バス運行事業に対して支援する。また、中心市街地の総合施設内において、魅力ある講座やイベントを実施し賑わいを創出するほか、小さな子どもを抱える子育て世帯や、高齢者、障がいのある方などがゆっくり安心して過ごせるスペースを確保し、多岐、多世代に渡って広く交流できるコミュニティの場を醸成して中心市街地の活性化を図る。

企業の経営基盤強化を図るため、設備投資等に対しての支援の継続や融資制度の貸付金利の緩和など、制度の充実、拡充を行っていく。

企業誘致では、平成28年度に利雪食品加工施設が建設され食品製造会社が進出しており、また、IT企業が進出しテレワーク事業が開始されるなど企業進出の動きが出てきている。平成26年度末に発足した「北海道スノーフード研究会」が、雪貯蔵食品の研究開発とブランド化を推進するなど、地域の産業振興に向けた動きが活発化している。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	新産業振興事業	経済振興課	46	見直し	方法の工夫・改善
2	美唄市食料備蓄推進協議会補助事業	経済振興課	500	見直し	方法の工夫・改善
3	企業立地活動事業	経済振興課	2,965	見直し	方法の工夫・改善
4	中小企業等振興資金貸付事業	経済振興課	308,591	見直し	方法の工夫・改善
5	中小企業指導対策事務	経済振興課	9,245	見直し	方法の工夫・改善
6	商工振興対策事務	経済振興課	277	見直し	方法の工夫・改善
7	まちなか交流広場管理運営事業	経済振興課	294	見直し	方法の工夫・改善
8	美唄ハイテクセンター貸付事業	経済振興課	171,500	見直し	方法の工夫・改善
9	空知団地管理事業	経済振興課	4,582	現状維持	債務負担行為
10	地域人材育成事業	経済振興課	1,997	現状維持	現行の内容が最適
11	中心市街地元気創出事業	経済振興課	4,350	見直し	方法の工夫・改善
12	空知団地企業誘致推進事業	経済振興課	10,655	終 了	事業完了
13	海外向けWDCプロモーション事業	経済振興課	1,450	終 了	事業完了
14	利雪の聖地びばいプロジェクト事業	経済振興課	892	見直し	方法の工夫・改善
15	ふるさとテレワーク推進事業	経済振興課	23,871	終 了	事業完了
16	地域経済循環創造事業	経済振興課	40,000	終 了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指 標	取得方法	算 定 式 等
成果指標	3	工業出荷額	工業統計調査	工業統計調査の市内工業製品出荷額総額 ※工業統計調査の集計結果は調査対象年の2年後に公表となる
関連指標	7	企業数	工業統計調査	工業統計調査の市内製造業企業数 ※工業統計調査の集計結果は調査対象年の2年後に公表となる
	8	起業件数	業務取得	平成23年度～平成32年度の起業件数の累積
	9	立地企業数	業務取得	平成23年度～平成32年度の立地企業数の累積
	10	年間商品販売額	商業統計調査	商業統計調査による市内年間商品販売額

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	１　人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	〔２〕にぎわいづくり
施　　策	（４）観光・交流

【 主管課及び関係課 】

主管課：観光振興課

関係課：総合政策課

【 施策の目指すべき姿 】

◎交流人口が増える
　交流拠点施設やアルテピアッツァ美唄、宮島沼などの地域資源が有効に活用され、たくさんの人が美唄を訪れる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 情報発信とPR活動の充実
　農産物をはじめ、やきとりやとりめし、加工品、農商工連携助成事業により開発された新商品などを、札幌圏や首都圏、関西圏で開催される物産イベントなどに出展し、PR・販路拡大を図るとともに、ハスカップやアスパラガス等、本市を代表する振興農作物については、生産体制を確保しながら、美唄ブランドの確立に向けた取組を推進する。
　また、道や市内金融機関と連携し、農協をはじめとした市内事業者などに、国内・国外での道産品商談会などの参加を促すとともに、安全・安心な道産品・美唄産品をホームページやSNSなどを活用し大々的に発信していく。

２ 交流拡大のしくみづくり
　道道美唄富良野線の開通を見据え、新たな交流拠点整備のあり方について検討するとともに、交流拠点施設「ゆ～りん館」やアルテピアッツァ美唄、炭鉱メモリアル森林公園などの産業遺産や宮島沼などの本市の有する地域資源と芦別市、富良野市など、周辺都市との回遊ルートの形成に加え、新たな観光ルートにおけるサイクリングツアーなどのイベント実施、シニア層や外国人を対象としたドライブ観光ルートを作成するとともに、道や市内金融機関と連携を図り、台湾やタイなどのメディア、旅行会社へのプロモーション・招へいに取り組み、外国人観光客の増加を図るほか、Wi-Fiなど通信・情報環境や外国語表示の標識等の設置など、受入環境の整備を行い、海外観光客を含めた交流人口の増加に努める。

３ 移住・定住の推進
　住宅の新築や中古住宅を購入した転入者への助成の継続及び短期滞在「ちょっと暮らし」事業を継続するとともに、地方での農業体験や就業を希望する都市部の若者や子育て世帯、シニア層などを対象に、SNSを活用して、食・観光、医療、子育て、雇用など、市政情報の発信を行い、移住定住の促進に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	4	観光入込客数	観光振興・交流推進の成果を観光入込客数で見る指標	90万人	30万人			33.3%
関連指標	11	観光PR活動年間実施回数	観光情報の発信の状況を市外で実施したPR活動の実施回数で測る指標	20回	19回			95.0%
	12	観光情報ホームページ年間アクセス件数	観光情報の利用状況を市のホームページの観光情報のページへの年間アクセス件数で測る指標	50,000件	27,337件			54.7%
	13	美唄市に移住した人数	移住・定住推進の取組の成果を移住・定住情報を活用して実際に美唄市に移住した人数で測る指標	50人 H28～32の累積	7人			14.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

観光振興については、道内外で開催されるイベントや物産展等に出展して観光特産PRを実施したとともに、「ツーリズムエキスポ」でのプロモーションや、広域連携によるサイクリングイベント「北海道そらちグルメフォンド」を実施したほか、情報発信では市のホームページ以外に、Facebookを通じて速報性のある観光情報を頻繁に発信するなど、交流人口の増加に向けた取組を進めた。また、海外からのサイクリストをはじめとした観光客を誘致するため、台湾の国際旅行博(ITF)、タイで開催された国際旅行博(TITF)及び北海道フェア「My Favorite HOKKAIDO」に出展、同時に企業訪問により教育旅行誘致に向けたプロモーションを実施した。

道が毎年実施する観光入込数調査によると、平成28年度の本市の観光入込客数は30万人で、平成26年度・平成27年度からほぼ横ばいであり、今後、観光客の誘致による交流人口の増加を図るため、道道美唄富良野線開通を見据え、広域による観光ルートの開発や、外国人観光客にも対応したSNSやスマートフォンのアプリケーションなどを活用し、サイクリングルートやドライブルートなどの情報発信に取り組んでいくほか、外国人のニーズが高い教育旅行を誘致するため、本市において日本語学習や日本文化を体験できる教育旅行のパッケージを作成するとともに、受入側のホスピタリティを高めるため、接客外国語講座を飲食店等に訪問して実施するなど、外国人の満足度を高めることでリピーター及び新規客の獲得につなげていく。

移住・定住の推進については、市内関係団体により構成される美唄市移住・定住推進協議会により市内への移住・定住を促進する取組を実施しているほか、市の取組としては、市内に土地を購入し、住宅を新築又は分譲住宅を購入し移住された方に助成を行っており、平成28年度は3件の実績があった。今後とも、移住・定住に係る情報を道内外に積極的にPRしていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	美唄観光物産協会補助事業	観光振興課	7,500	見直し	方法の工夫・改善
2	観光振興事業	観光振興課	2,315	見直し	方法の工夫・改善
3	美唄国設スキー場管理運営事業	観光振興課	8,503	現状維持	現行の内容が最適
4	美唄国設スキー場整備事業	観光振興課	4,627	見直し	方法の工夫・改善
5	交流拠点施設管理事業	観光振興課	1,149	現状維持	現行の内容が最適
6	交流拠点施設整備事業	観光振興課	61,759	現状維持	現行の内容が最適
7	パークゴルフ場管理事業	観光振興課	7,551	現状維持	現行の内容が最適
8	パークゴルフ場整備事業	観光振興課	608	現状維持	現行の内容が最適
9	体験交流施設管理事業	観光振興課	6,231	現状維持	現行の内容が最適
10	スキーパトロール隊活動交付事業	観光振興課	300	現状維持	現行の内容が最適
11	ピパオイの里プラザ管理運営事業	経済振興課	5,086	見直し	方法の工夫・改善
12	南空知ふるさと市町村圏組合事務	総合政策課	832	見直し	方法の工夫・改善
13	移住・定住促進事業	総合政策課	3,246	見直し	拡　充
14	ちょっと暮らし受入事業	観光振興課	107	終　了	事業完了
15	特産品情報発信促進事業	観光振興課	26,481	見直し	方法の工夫・改善
16	地域資源を活用した観光地づくり推進事業	観光振興課	12,271	見直し	方法の工夫・改善
17	体験交流施設整備事業	観光振興課	3,400	終　了	事業完了
18	国内外観光客誘致対策事業	観光振興課	39,510	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	4	観光入込客数	業務取得	北海道観光入込客数調査報告による美唄市への観光入込客数
関連指標	11	観光PR活動年間実施回数	業務取得	市外で実施した観光PR活動の年間実施回数
	12	観光情報ホームページ年間アクセス件数	業務取得	市ホームページの観光情報のページへの年間アクセス件数
	13	美唄市に移住した人数	業務取得	移住・定住情報を活用して実際に美唄に移住した人数(H28～32の累積)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	１　人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	〔２〕にぎわいづくり
施　　策	（５）公共交通

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎移動に必要な交通手段がある
　運転のできない学生・生徒や高齢者、障がい者、妊婦等の交通手段を確保する。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　公共交通機関
　新たに作成された「地域公共交通網形成計画」に基づき、民間事業者やまちづくりと連携した、「地域にとって望ましい公共交通のすがた」を明らかにし、利便性を高めていく。また、JRに対し、利用者が安心して利用できるようダイヤ確保に向けた要請を行っていく。

２　公共交通の見直し
　市民バス路線をはじめ、民間路線や買い物バスなどの既存路線にかかる乗降調査や市民や地域からの意見を聴取することにより、運行経路や停留所を検討し、継続して運行可能な路線となるよう、コストの縮減と広告料などにより、収益の確保を図る。
　また、乗合タクシー事業についても、乗合タクシー協力事業者や利用者の意見を伺いながら、利用者の利便性を図るとともに、コストが削減できる方法を検討していく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	5	市内公共交通の満足度	日常生活で公共交通がどの程度充足しているかを見る指標	70.0%	64.1%			91.6%
関連指標	14	市民バス年間利用者数	市民バスの利用状況を1年間の市民バス(西線・東線)延べ利用者数で見る指標	80,000人	76,052人			95.1%
	15	乗合タクシー年間利用者	乗合タクシーの利用状況を1年間の延べ利用人数で見る指標	5,000人	4,126人			82.5%

【 施策の達成(進捗)状況 】

　成果指標としている「市内公共交通の満足度」は、昨年の63.5%から64.1%と0.6ポイントではあるが微増している。これは、平成24年10月から循環方式として運行している市民バス東線の利用方法が定着したものと考えられる。
　また、平成24年度に東側地区、平成26年度に西側地区において運行を開始した乗合タクシーについても一定の満足が得られているものと考える。
　今後は、平成27年度に策定した美唄市地域公共交通網形成計画に基づき、市民バス東線及び南美唄線の路線変更を推進し、利用者の利便性をよくするとともに、満足度を高めていく公共交通にしたい。

【 施策を構成する事務事業 】

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	市民バス西線運行事業	生活環境課	9,364	見直し	方法の工夫・改善
2	市民バス東線運行事業	生活環境課	27,266	見直し	方法の工夫・改善
3	市民バス購入事業	生活環境課	15,693	終　了	休　止
4	美唄市バス路線維持費補助事業	生活環境課	8,270	見直し	方法の工夫・改善
5	地域公共交通活性化・再生総合事業	生活環境課	1,258	現状維持	現行の内容が最適
6	地域間幹線系統バス路線維持費補助事業	生活環境課	3,412	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　　標	取 得 方 法	算　　定　　式　　等
成果指標	5	市内公共交通の満足度	まちづくり 市民アンケート	通勤・通学や買い物などに行くとき、近くを通るバス路線がなかったり、使いたい時間帯の便がないなどで困っていますか。 1.近くを通るバス路線がなく困っている　2.使いたい時間帯の便がなく困っている　3.困るときもあるが現状のままでも我慢できる　4.困っていない　　5.その他(　) 3.4の回答者数／全回答者数
関連指標	14	市民バス年間利用者数	業務取得	市民バス(西線・東線)の年間延べ利用者数
	15	乗合タクシー年間利用者	業務取得	乗合タクシーの年間延べ利用人数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	１　人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	〔２〕にぎわいづくり
施　　策	（６）情報化推進

【 主管課及び関係課 】

主管課：秘書広報課

関係課：市民課

【 施策の目指すべき姿 】

◎必要な情報を必要なときに知ることができる

市民生活やまちづくりの活動に必要な情報を市のホームページなどを通じて、必要なときに知ることができる。また、様々なまちづくりの課題について、ICTを活用して解決につなげることができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　行政情報サービス

市から提供する情報については、少子高齢化を背景として、医療・保健・福祉、子育て支援、防災・防犯など、市民生活に身近な情報をきめ細かく提供するとともに、高齢者にもわかりやすい情報提供の充実を図っている。

また、光回線のサービスエリア拡大や公共施設等のWi-Fi環境整備を図るとともに、簡易申請機能を活用した電子申請手続数を充実させ、市民等の利便性の向上を図る。

２　情報通信環境整備

地域の様々な課題に対応できるよう、ICTを活用した方策を検討し、町内会活動の情報や各種のボランティア活動情報などの発信・共有、交流により、協働のまちづくりや地域活力の向上につなげていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	6	光回線普及率	情報化を進めるための環境がどの程度整っているかを見る指標	100.0%	93.7%			93.7%
関連指標	16	美唄市公式ホームページ年間アクセス件数	アクセス件数により市からの情報の受信状況を測る指標	180万件	112万件			62.2%
	17	電子申請可能な手続数	市への届出や申請などの手続について、インターネットを通じてできる数により電子自治体の進捗度を測る指標	50手続	19手続			38.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

光回線普及率については、目標値に対して大幅な普及が図られたが、普及率100%になるよう、引き続き、民間通信事業者に対し要望を行う。

公式ホームページへのアクセスについては、年々アクセス数が増加しているものの、目標値には到達していない状況であるが、ホームページを活用した情報発信のほか、広報紙やソーシャルネットワークサービス等、それぞれの特性を生かした情報発信に努めている。

電子申請については、目標値に到達していない状況であるが、今後、マイナンバー制度による情報連携やマイナンバーカードを活用した様々なサービスの実施について、国の動向を見極めながら、引き続き、市民生活の利便性につながるサービス提供を検討する。

【 施策を構成する事務事業 】

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	地域情報化運用事業	秘書広報課	3,776	現状維持	現行の内容が最適
2	行政情報化運用事業	秘書広報課	117,983	見直し	方法の工夫・改善
3	戸籍事務電算化事業	市民課	25,976	現状維持	債務負担行為

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　　標	取 得 方 法	算　　定　　式　　等
成果指標	6	光回線普及率	業務取得	光回線サービスエリア電話加入者数／市内電話加入者数
関連指標	16	美唄市公式ホームページ年間アクセス件数	業務取得	市ホームページへの年間アクセス件数
	17	電子申請可能な手続数	業務取得	インターネットを通じてできる市への届出や申請などの手続数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	２　人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	〔３〕人づくり
施　　策	(７) 子育て支援

【 主管課及び関係課 】

主管課：こども未来課

関係課：健康推進課、学務課、生涯学習課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して子育てができるまち

　子育て仲間との交流を核に、様々なイベントを通じて多世代の人たちとふれあい、子育て講演会や子育てに役立つ講座等を活用して、子育てが楽しいと感じるまち。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　子育て支援環境

　新びばいっこすくすくプラン(美唄市子ども・子育て支援事業計画)に基づき、すべての子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを関係機関と連携し、地域社会全体で推進する。

　子育て支援の核となる子育て支援センターが、利用しやすく、子育て世代に寄り添うサービスの提供ができるよう、利用者ニーズの把握や事業の充実を図る。

　子どもの発達が支援できるよう、こども療育広場に作業療法士の配置を検討する。

２　保育環境の整備

　幼児数の推移や課題を踏まえ、へき地保育所の統廃合などについて検討する。

　教育・保育・子育て支援の充実を図るとともに、保育情報を発信し、保護者との情報共有に努める。

３　幼稚園教育

　美唄市幼稚園教育振興計画に基づき、「自分らしさを発揮し、健やかでこころ豊かな子どもを育む」を基本方針として、幼稚園教育の振興を図っていく。

　幼児教育や保育を行う施設の形態については、幼児数の推移、美唄市認定こども園の運営状況を踏まえ、総合的に検討していく。

　また、子どもの発達の連続性を踏まえ、幼児期の教育と小学校以降の教育との円滑な接続を図るため、行事や授業での交流や教職員の合同研修などにより、幼稚園と認定こども園、保育所、小中学校との連携を深める。

４　放課後児童対策

　施設や設備の改善、研修等による指導体制の一層の充実を図る。

５　青少年の健全な育成

　青少年の問題行動を未然に防止するとともに健全に育成するため、家庭、学校、地域、関係機関との連携を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度(進捗度)
				H32	H28			
成果指標	7	子育てしやすいまちだと思う市民の割合	美唄市がどの程度子育てしやすい環境にあるかを市民の視点から見る指標	60.0%	29.0%			48.3%
関連指標	18	乳幼児健康診査等受診率	受診率が低下しつつある乳幼児・1歳6か月児・3歳児の健康診査について、要支援親子の早期発見・早期支援のために維持できているかを見る指標	100.0%	96.3%			96.3%
	19	子育て支援センター利用者数	子育ての負担感や孤立感の緩和が図られているかを見る指標	1日平均23人	1日平均16人			69.6%

【 施策の達成(進捗)状況 】

子育て支援については、新びばいっこすくすくプラン(美唄市子ども・子育て支援事業計画)の基本施策に基づいた各事業を実施した。また、子育て支援センターが実施した子育て講演会や各講座において子育て世代の交流が図られ、今後においても子育てに役立つ講座など子育て世代のニーズを把握しながら事業の充実を図っていく。

保育環境の整備については、ピパの子保育園を開園し、保育環境の充実を図った。また、病児保育室を開設するための整備を行った。

幼稚園教育については、集団活動の中で、私立幼稚園や保育所等との交流、小中学校や地域との交流など、多様な連帯の中で、子どもたちの発達に必要な体験と主体的な活動を大切にしながら、幼稚園教育の充実と義務教育への円滑な接続に努めた。

放課後児童対策については、利用者が増加していた中央小学校区放課後児童施設の室内間に扉を設置し、環境整備を図った。また北海道認定の研修会への参加のほか、大学主催の研修会にも参加し、資質の向上を図った。

放課後児童施設の待機児童数　0人

H27　開設日数294日　在籍者数160人　年間延べ利用者数22,932人

H28　開設日数293日　在籍者数177人　年間延べ利用者数27,303人

今後も数年、利用者が増加傾向にあるため、平成28年度に向けて、中央小学校区放課後児童施設の利用者定員を増員する条例改正を実施した。

青少年の健全な育成については、青少年センターと青少年問題協議会、青少年育成協議会6地区や、民生児童委員、警察、各学校などと協力し、市内巡回や啓発活動などを行い、青少年の健全育成への取組を行うとともに、青少年の相談活動を行った。

H28 街頭指導・特別指導等　31日 延392人参加

活動補助　青少年育成協議会 6地区、地域青少年育成協議会 5地区

相談(電話・メール等)　9件

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	家庭児童相談事業	こども未来課	30	現状維持	現行の内容が最適
2	こども療育広場事業	こども未来課	10,972	現状維持	現行の内容が最適
3	子育て支援センター管理事業	こども未来課	2,730	現状維持	現行の内容が最適
4	子育ての広場運営事業	こども未来課	6,143	現状維持	現行の内容が最適
5	子育て短期支援事業	こども未来課	29	現状維持	現行の内容が最適
6	地域子育て拠点支援事業	こども未来課	309	見直し	方法の工夫・改善
7	子育て地域ささえあい事業	こども未来課	137	現状維持	現行の内容が最適
8	児童手当支給事業	こども未来課	218,068	現状維持	法令等の定めあり
9	児童扶養手当等支給事業	こども未来課	113,272	現状維持	法令等の定めあり
10	障がい児居宅生活支援費給付事業	こども未来課	69,077	現状維持	法令等の定めあり
11	障がい児等保育事業	こども未来課	1,980	現状維持	現行の内容が最適
12	母子・父子家庭等支援事業	こども未来課	158	見直し	方法の工夫・改善
13	母子家庭自立支援給付金事業	こども未来課	71	現状維持	法令等の定めあり
14	乳幼児健康増進事業	健康推進課	1,083	現状維持	現行の内容が最適
15	親子の健康づくり事業	健康推進課	74	見直し	方法の工夫・改善
16	乳幼児等医療費助成事業	市民課	21,924	見直し	対象や目的変更
17	市立保育所管理運営事業	こども未来課	29,256	現状維持	現行の内容が最適
18	保育施設整備事業	こども未来課	12,534	終　了	事業完了
19	一時保育事業	こども未来課	2,401	現状維持	現行の内容が最適
20	延長保育事業	こども未来課	1,002	見直し	方法の工夫・改善
21	へき地保育所管理運営事業	こども未来課	58,936	見直し	縮　小
22	幼稚園管理運営事業	学務課	1,566	現状維持	現行の内容が最適
23	幼稚園維持修繕事業	学務課	580	現状維持	現行の内容が最適
24	私立幼稚園就園奨励補助事業	学務課	17,665	現状維持	法令等の定めあり

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
25	美唄市子ども会育成連絡協議会支援事業	生涯学習課	752	見直し	方法の工夫・改善
26	児童館管理運営事業	生涯学習課	6	現状維持	現行の内容が最適
27	青少年センター運営事業	生涯学習課	53	現状維持	現行の内容が最適
28	青少年健全育成事業	生涯学習課	1,204	見直し	方法の工夫・改善
29	青少年問題協議会運営事業	生涯学習課	88	現状維持	現行の内容が最適
30	地域青少年指導対策補助事業	生涯学習課	234	現状維持	現行の内容が最適
31	美唄市青少年野外教育活動補助事業	生涯学習課	130	見直し	方法の工夫・改善
32	スポーツ少年団育成補助事業	スポーツ振興課	250	現状維持	現行の内容が最適
33	ブックスタート事業	市立図書館	311	見直し	方法の工夫・改善
34	放課後児童対策事業	生涯学習課	29,911	現状維持	現行の内容が最適
35	育成医療給付事業	こども未来課	501	現状維持	法令等の定めあり
36	認定こども園管理運営事業	こども未来課	7,268	現状維持	現行の内容が最適
37	病児保育室整備事業	こども未来課	6,725	終　了	事業完了
38	幼児期からの運動支援事業	こども未来課	566	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	7	子育てしやすいまちだと思う市民の割合	まちづくり市民アンケート	美唄市は、子育てしやすいまちだと思いますか。(小学生以下の子を持つ人)　1.はい　2.いいえ 1の回答者数／全回答者数
関連指標	18	乳幼児健康診査等受診率	業務取得	乳幼児・1歳6か月児・3歳児健康診査の受診者数／全対象者数
	19	子育て支援センター利用者数	担当課(保育所)アンケート	子育て支援センター利用者数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	２　人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	〔３〕人づくり
施　　策	（８）学校教育

【 主管課及び関係課 】

主管課：学務課

関係課：指導室

【 施策の目指すべき姿 】

◎基礎的・基本的な学力を身につけた子どもが育つ
　学校で学習したことをしっかりと身につけるため、家庭学習の定着が図られている。学校と家庭における学びが連動し、学ぶ楽しさを実感した子どもたちが主体的に学び、基礎学力が着実についている。
　また、地域との結びつきを大切にした豊かな体験機会の実施により、たくましく生きる力をもった子どもたちが育ち、幼稚園から高等学校までの特色ある教育活動の連携が生まれている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 学校教育

学力の向上について、各学校の特性等に応じた創意工夫のある授業の創造に努めるほか、全校的な学習規律の周知・徹底を図るとともに、子どもが楽しく通える学校づくりに取り組む。また、PTAとの連携や啓発資料の作成・配布などをとおして、家庭における基本的生活習慣の定着を働きかける。特に、家庭学習の習慣化を最重点に取り組む。さらに、放課後学習の一層の充実を図るために地域ボランティア等の活用について検討していく。

体力の向上については、各学校で行っている「一校一実践」の更なる改善・充実を図る。さらに、農業体験学習や食育を通し、幼保・小中・高校へとつながる「学びの連携」を図るなど、本市の特色ある教育の推進に努める。

様々な体験等による豊かな心の育成を図るとともに、特別支援教育、いじめ・不登校等対策については、学校教育だけでなく、地域や家庭、関係機関との連携により、支援体制の充実に努める。

今日的な教育課題への取組については、カウンセリング研修やICT研修など、教員の研修機会の充実を図り、より質の高い学習が展開できるよう努める。

２ 教育環境の整備

地域の人たちとともに登下校時の見守りを継続することで、児童生徒の安全の確保に取り組む。また、老朽化に伴う学校施設の計画的な改修に努めるほか、情報通信機器やデジタル教材等、ICT環境の充実を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値 H32	実績値 H28			達成度（進捗度）
成果指標	8	家庭学習を毎日1時間以上行っている子どもの割合	学力向上のため、児童・生徒が家庭学習の習慣を身につけているかを見る指標	H25より高める 小学生 46.9% 中学生 50.9%	小学生 27.4%			△ 19.5ポイント
					中学生 51.6%			＋0.7ポイント
関連指標	20	全国学力・学習状況調査の平均正答率	学力の定着度を「全国学力・学習状況調査」の平均正答率で測る指標	全国平均正答率（ＡＢの平均値比較）	小学校国語 56.9%			△ 8.5ポイント
					小学校算数 54.9%			△ 7.6ポイント
					中学校国語 66.8%			△ 4.3ポイント
					中学校数学 48.7%			△ 4.5ポイント
	21	体力・運動能力	体力や運動能力の状況を「全国体力・運動能力、運動習慣調査」の体力合計点で測る指標	H25より高める 小学校男子 42.5% 小学校女子 44.7% 中学校男子 43.8% 中学校女子 41.1%	小学校男子 48.9%			＋6.4ポイント
					小学校女子 48.3%			＋3.6ポイント
					中学校男子 45.9%			＋2.1ポイント
					中学校女子 42.3%			＋1.2ポイント
	22	不登校児童生徒数	小中学校や教育委員会で取り組んでいる不登校対策の状況を「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」で測る指標	H25より減らす 28人	26人			＋2.0ポイント

【 施策の達成(進捗)状況 】

確かな学力の育成については、「確かな学力育成プラン」を着実に推進し、全国的な調査による学力・学習状況等の分析と検証をもとに、基礎学力の向上に努めた。

生活のリズムの確立や授業の予習・復習、読書習慣等の定着に向けては、家庭学習の充実が欠かせないことから、「家庭学習の手引き」による啓発活動に努めるとともに、学校においては、発達段階に応じた主体的な学習習慣が身に付くよう、家庭との連携を図ってきた。

豊かな心の育成については、教育活動全体を通して行う道徳教育をはじめ、発達段階に応じた社会奉仕や自然体験活動、読書活動等を通じて、ルールやマナーを身に付けるとともに、互いに尊重し合う気持ち、やさしさと思いやりの心を育ててきた。

不登校などへの対応については、家庭と学校との連携を図りながら、適応指導教室での指導やスクールソーシャルワーカーとの関わりの中で、子どもたちの生活のリズムを整え、学習意欲の醸成等へとつなげてきた。

特色ある教育の推進については、農業や食の大切さ、生命の大切さについての学びを深めるため、農業体験学習を取り入れたグリーン・ルネサンス推進事業を継続実施した。

教育環境の整備については、小中各1校の給食用小荷物専用昇降機の改修、東小学校の屋内運動場の床の改修を実施するほか、スクールバス1台を更新した。また、情報通信機器やデジタル教材については、小学校のパソコン教室用のパソコンと小中学校の教師用パソコンを更新したほか、小学校の特別支援教室で使用するためのタブレットパソコンを導入し、ICT環境の充実を図った。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	教師用教科書・指導書購入事業	学務課	3,746	現状維持	現行の内容が最適
2	小学校管理運営事業	学務課	52,179	現状維持	現行の内容が最適
3	小学校教材購入事業	学務課	3,130	現状維持	現行の内容が最適
4	小学校コンピュータ教育事業	学務課	784	現状維持	現行の内容が最適
5	小学校大規模改修事業	学務課	4,930	現状維持	現行の内容が最適
6	小学校維持修繕事業	学務課	7,301	現状維持	現行の内容が最適
7	中学校管理運営事業	学務課	41,687	現状維持	現行の内容が最適
8	中学校教材購入事業	学務課	2,800	現状維持	現行の内容が最適
9	中学校コンピュータ教育事業	学務課	7,403	現状維持	現行の内容が最適
10	中学校大規模改修事業	学務課	7,538	現状維持	現行の内容が最適
11	中学校維持修繕事業	学務課	5,598	現状維持	現行の内容が最適
12	中学校机椅子更新事業	学務課	385	終　了	事業完了
13	外国人講師小中学校派遣事業	指導室	8,548	現状維持	現行の内容が最適
14	小中学校文化行事開催事業	学務課	101	現状維持	現行の内容が最適
15	就学援助事業	学務課	29,602	見直し	拡　充
16	学校保健管理事業	学務課	7,771	現状維持	現行の内容が最適
17	学校事故・災害対策事務(学校災害賠償保険等)	学務課	1,316	現状維持	現行の内容が最適
18	特別支援教育振興事業	指導室	25,174	現状維持	現行の内容が最適
19	不登校児童生徒指導対策事業	指導室	2,106	現状維持	現行の内容が最適
20	学校支援地域本部事業	生涯学習課	1,018	現状維持	現行の内容が最適
21	中体連南空知大会補助事業	学務課	251	現状維持	現行の内容が最適
22	美唄市文化・体育大会派遣補助事業	学務課	3,884	現状維持	現行の内容が最適
23	グリーン・ルネサンス推進事業	学務課	941	現状維持	現行の内容が最適
24	スクールバス運行維持管理事業	学務課	56,324	見直し	拡　充
25	スクールバス更新事業	学務課	17,013	見直し	拡　充
26	学校給食センター管理運営事業	学務課	45,159	現状維持	現行の内容が最適

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
27	学校給食費管理補助事業	学務課	927	現状維持	現行の内容が最適
28	学校給食センター整備事業	学務課	21,978	現状維持	現行の内容が最適
29	言語治療教室事業	指導室	110	現状維持	現行の内容が最適
30	空知教育センター組合事業	学務課	1,048	現状維持	現行の内容が最適
31	小学校教職員住宅維持修繕事業	学務課	682	現状維持	現行の内容が最適
32	中学校教職員住宅維持修繕事業	学務課	570	現状維持	現行の内容が最適
33	教職員健康診断事務	学務課	1,459	現状維持	現行の内容が最適
34	教育委員会運営事務	学務課	4,482	現状維持	現行の内容が最適
35	学力向上プロジェクト推進事業	指導室	2,604	現状維持	現行の内容が最適
36	通級指導教室交通費助成事業	指導室	30	現状維持	現行の内容が最適
37	学校施設・設備整理配置事業	学務課	7,690	終　了	休　止
38	美唄市内高等学校支援事業	学務課	544	見直し	拡　充

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	8	家庭学習を毎日1時間以上行っている子どもの割合	担当課(学校) アンケート	全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙)において、学校の授業時間以外に1時間以上勉強をしていると回答した児童・生徒の割合
関連指標	20	全国学力・学習状況調査の平均正答率	業務取得	市内と全国との比較
	21	体力・運動能力	業務取得	市内と全国の比較で、全国平均を50とした場合
	22	不登校児童生徒数	業務取得	不登校児童生徒数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	２　人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	〔３〕人づくり
施　　策	（９）芸術・文化・生涯学習

【 主管課及び関係課 】

主管課：生涯学習課
関係課：サテライト・キャンパス推進室、スポーツ振興課、市立図書館、東京五輪・パラリンピック合宿誘致推進室

【 施策の目指すべき姿 】

◎生涯学習を行うための安全で快適な環境が整えられている
市民が自発的に文化活動やスポーツに取り組むことのできる安全で快適な環境が整えられている。
優れた芸術等に触れる機会や環境が提供され、自らの活動の成果を発表する場が充実している。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　生涯学習活動の充実

市民の皆さんの多様で旺盛な学習意欲とライフスタイルの変化に応えるため、大学等との連携による学習機会の充実と時代状況に応じた内容の選択や拠点となる施設の検討を進めるとともに、ICTの活用などを含め、サークル・団体間の情報交換や交流を促進する。また、学んだ成果を自主的、主体的な活動として、まちづくりなどに生かしていくしくみを検討していく。

市民の心と体の健康推進のため、スポーツ健康都市宣言を行い、平成27年度に実施した「チャレンジデー」を契機とした運動習慣づくりを様々な団体や機関等と連携し、広げていく。

文化・スポーツ施設については、人口減少に伴う整理・統合や計画的な改修に努めるとともに、市民会館・公民館については、図書館とともに、「生涯学習センター」としての整備を具体的に検討していく。図書館については、さらに利用しやすくなるよう工夫をしていく。

新たに、スポーツの振興、交流によるまちづくりを進めるため、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致活動を進めていく。

２　歴史、文化財等の伝承と活用

郷土史料館については、通年開館に向け、検討するとともに、郷土の歴史や自然などを学ぶ場として利用が広がるように、利用方法等について、見直しを図る。

文化財については、適正な維持・保全と活用を進めるとともに、木造建築物については、計画的な改修・補強により、その保存に努める。

少子高齢化や余暇の多様化など、様々な要因から後継者不足となっている市指定無形文化財については、子どもたちを中心とした後継者の育成に努め、次世代につなげていく取組を進めていく。

３　芸術・文化の鑑賞

「文化芸術創造都市」としての文化的活動を一層活性化させるため、市内外の施設間の連携を深め、美唄らしい芸術・文化イベントの企画・開催などにより、多くの人々が楽しめる時間と空間を創造していく。

アルテピアッツァ美唄については、施設の充実や情報発信に努めるとともに、美術館化の検討を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指標の説明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	9	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	生涯学習施設や情報を提供することにより、活動の機会が得られているかを見る指標	50.0%	40.8%			81.6%
関連指標	23	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	身近に芸術・文化にふれる機会があるかを見る指標	40.0%	25.6%			64.0%
	24	1日30分以上、週2回以上の運動習慣を身に付けている市民の割合	健康保持やスポーツに関心があり、実践しているか測る指標	40.0%	41.5%			103.8%

【 施策の達成(進捗)状況 】

生涯学習活動の充実については、市民の多様なニーズに応えるため、広く生涯学習機会を提供し、美唄サテライト・キャンパス事業を中心に年齢を問わず、多くの市民の方が参加されたほか、平成27年度に発足した自主活動グループへの支援に努めた。

サークル・団体間の情報交換、交流の促進は、実施に至らず、次年度以降において検討する。市民会館に図書館機能も含めた「生涯学習センター」の建設に向け、ワーキンググループを発足するも具体的な協議に至らず引き続き検討していく。

市民の心と体の健康推進のため、平成28年6月にスポーツ健康都市宣言を行ったほか市民の皆さんの運動習慣のきっかけづくりとして、平成26年度からチャレンジデーに様々な団体や関係機関と連携し取り組み、その結果、平成26年度39.3%、平成27年度42.8%、平成28年度41.5%とおおむね40%の参加率となっている。

今後も機会があるたびにスポーツ健康都市宣言を市民の皆さんに周知しながら運動習慣を身に付けてもらえるよう、スポーツ推進委員をはじめ関係団体等と連携し、スポーツや運動に取り組む施策を展開していく。

また、スポーツ施設については、平成28年度においては、温水プールの真空式温水器の改修工事や総合体育館の暖房給湯ボイラーの更新工事のほか、それぞれ小規模修繕などを行ってきている。

今後も施設に関しては老朽化が進んでいることから、順次必要な改修に努めていく。

また、スポーツの振興、交流によるまちづくりを進めるため、新たに取り組んだ2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿の誘致活動については、トレーニングをするスポーツ施設などの合宿環境が整っておらず、アスリートの誘致は難しいが、オリパラ以外のスポーツ合宿誘致は少しずつ行われ、今後も拡大できる要素があるので、引き続き取り組んでいく。

歴史、文化財等の伝承と活用では、郷土史料館は通年開館に向けた調査を実施するが、暖房設備を更新する場合、高額な費用を要し、費用対効果が低いと判断されることから、実施困難と判断するが、引き続き、本市の歴史を後世に伝える貴重な施設であることから、その活用について見直しを図るとともに、閉館期間中の移動史料館を継続していくこととする。

芸術・文化の鑑賞については、市民会館大ホールの改修に伴い市民会館利用者が前年度比2割強減少したものの、市民文化祭には、600人近くの出品・出演があり、開催期間中の入場者数は1,800人となった。また、美唄市文化協会が中心となり、大ホールでの文化活動はできなかったが、数々の演奏会等が行われた。

アルテピアッツァ美唄は、平成28年4月より博物館法による登録博物館(美術館)として登録され、名称も「安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄」と改称し、新たなスタートを切り、登録博物館として美術館の周知を図った。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	アルテピアッツァ美唄管理運営事業	生涯学習課	23,024	見直し	拡　充
2	アルテピアッツァ美唄整備事業	生涯学習課	1,825	見直し	拡　充
3	公民館・市民会館整備事業	生涯学習課	65,879	現状維持	現行の内容が最適
4	公民館・市民会館管理運営事業	生涯学習課	38,147	現状維持	現行の内容が最適
5	舞台公演等補助事業(市民会館文化補助事業)	生涯学習課	400	現状維持	現行の内容が最適
6	南美唄コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	976	現状維持	現行の内容が最適
7	郷土史料館管理運営事業	生涯学習課	2,036	現状維持	現行の内容が最適
8	社会教育施設管理事業	生涯学習課	990	現状維持	現行の内容が最適
9	生涯学習事業	生涯学習課	195	現状維持	現行の内容が最適
10	文化財保護事業	生涯学習課	668	現状維持	現行の内容が最適
11	スポーツ大会・教室開設事業	スポーツ振興課	361	見直し	方法の工夫・改善
12	保健体育管理事務	スポーツ振興課	339	現状維持	法令等の定めあり
13	体育施設管理運営事業	スポーツ振興課	7,856	見直し	拡　充

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
14	温水プール管理運営事業	スポーツ振興課	35,870	見直し	拡　充
15	体育センター管理運営事業	スポーツ振興課	7,135	見直し	拡　充
16	総合体育館管理運営事業	スポーツ振興課	30,681	見直し	拡　充
17	総合体育館整備事業	スポーツ振興課	20,304	見直し	拡　充
18	体育施設整備事業	スポーツ振興課	13,575	見直し	拡　充
19	図書整備と資料奉仕活動事業	市立図書館	2,190	見直し	方法の工夫・改善
20	地域奉仕活動と巡回奉仕活動事業	市立図書館	390	見直し	方法の工夫・改善
21	図書館ＯＡ化推進事業	市立図書館	418	見直し	方法の工夫・改善
22	図書館管理運営事業	市立図書館	3,217	見直し	方法の工夫・改善
23	児童図書整備と資料奉仕活動事業	市立図書館	1,121	見直し	方法の工夫・改善
24	美唄サテライト・キャンパス事業	サテライト・キャンパス推進室	50	現状維持	現行の内容が最適
25	温水プール整備事業	スポーツ振興課	9,342	見直し	拡　充
26	東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致推進事業	東京五輪・パラリンピック合宿誘致推進室	2,581	見直し	拡　充
27	体育センター整備事業	スポーツ振興課	8,140	見直し	拡　充

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	9	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	まちづくり市民アンケート	生涯学習として何か活動を行っていますか。 1.教養・資格　2.スポーツ・レクリエーション　3.芸術・文化 4.ボランティアや地域活動　5.趣味・娯楽　6.その他　7.特に行っていない 1～6の回答者数／全回答者数
関連指標	23	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	まちづくり市民アンケート	この1年間に市内で行われた音楽会、美術展、演劇など、芸術･文化の鑑賞ためにどのくらい足を運びましたか。 1.5回以上　2.2～4回 3.1回　4.鑑賞していない 1～3の回答者数／全回答者数
	24	1日30分以上、週2回以上の運動習慣を身に付けている市民の割合	まちづくり市民アンケート	1日30分以上、週2回以上の運動を行っていますか。 1.行っている　2.行っていない 1の回答者/全回答者数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	２　人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	〔３〕人づくり
施　　策	(10) 男女共同参画

【 主管課及び関係課 】

主管課：秘書広報課

【 施策の目指すべき姿 】

◎男女が平等であるという意識が広く浸透する
　性別による役割分担意識にとらわれない男女平等意識、人権意識が広く浸透し、あらゆる分野において対等なパートナーとして男女がともに参画できる社会になる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　啓発活動と協働による取組
　男女共同参画やあらゆる分野での女性の社会進出と生活との調和の考え方が広く理解されるよう、講演会やワークショップの開催、市の広報紙やホームページなどを活用した啓発活動を継続して行うとともに、性別や家庭環境などに関わらず暮らしの質を高めることができるよう、関係団体との協働による活動の継続・拡充に努める。

２　女性登用の推進
　市の審議会やあらゆる分野への女性の登用を要請し、政策・方針決定などの指導的立場への女性参画を推進する。

３　暴力の根絶に向けたネットワークづくり
　配偶者等からの暴力を根絶するため、関係機関や団体相互の連携強化を進め、暴力の防止、被害者の保護や自立支援の取組を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	10	固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	男女共同参画の考え方の浸透度を測る指標	60.0%	59.9%			99.8%
関連指標	25	現在、男女が平等だと感じている市民の割合	男女共同参画の取組の成果を、男女平等と感じている市民の割合から見る指標	60.0%	31.9%			53.2%
	26	市の審議会等への女性の登用率	男女共同参画の状況を、市の審議会等への女性の登用率から見る指標	30.0%	22.7%			75.7%

【 施策の達成(進捗)状況 】

啓発活動と協働による取組では、美唄市男女共同参画推進協議会と連携し、講演会の開催や広報紙(年2回)の発行、市内イベントでの啓発活動などを行い、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めた。

今後もこれらの取組を継続していくとともに、広報紙やホームページ等を活用し、より一層の啓発活動に努めていく。

女性登用の推進では、審議会等への女性登用率の向上を図るため、各審議会等に対し女性委員の登用を積極的に働きかけていく。

暴力の根絶に向けたネットワークづくりでは、女性や子どもへの暴力根絶に向けた取組として、啓発パンフレットや啓発ポスターを公共施設に配置したほか、市の広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。また、配偶者暴力防止に関する会議に参加し、国や道をはじめ関係団体との連携を深めた。今後とも、これらの取組を継続していく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	男女共同参画社会形成促進事業	秘書広報課	69	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指 標	取得方法	算 定 式 等
成果指標	10	固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	まちづくり市民アンケート	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。1.同感しない 2.どちらかといえば同感しない 3.どちらかといえば同感する 4.同感する 5.わからない 1.2の回答者数／全回答者数
関連指標	25	現在、男女が平等だと感じている市民の割合	まちづくり市民アンケート	現在の男女の地位の平等感についてどのように感じていますか。1.平等である 2.男性が優遇されている 3.女性が優遇されている 4.わからない 1の回答数／全回答数
	26	市の審議会等への女性の登用率	業務取得	審議会等の女性委員の数／審議会等の委員の数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	２　人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	〔３〕人づくり
施　　策	(11) 平和施策

【 主管課及び関係課 】

主管課：総務課

【 施策の目指すべき姿 】

◎平和を願い、考える機会がある
　市民一人ひとりが平和を願い、平和の大切さを考える機会を持つことができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 啓発活動と協働による取組
　戦争経験のない子どもたちに、戦争の悲惨さや平和の大切さについて、理解を深めてもらうとともに核兵器廃絶平和都市宣言に込めた世界平和の願いが、子どもから高齢者まで広い世代にわたり浸透していくよう、啓発活動を継続していく。
　また、多くの市民や団体との協働による平和祈念行事を開催して、平和について考える機会を確保しながら、世界平和と核兵器の廃絶を願う市民の輪をさらに広げていく。

２ 他都市との連携
　平和首長会議では、2020年までの核兵器廃絶を目指す行動指針「2020ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」の取組の一つとして、「核兵器禁止条約」の交渉開始を求める署名活動を展開しており、本市もこの活動に取り組むなど、平和を願う国内外との連携を図っていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度(進捗度)
				H32	H28			
成果指標	11	平和祈念行事数	平和について考える契機となる行事の数から、平和施策の継続した取組状況を測る指標	4件	4件			100.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

　啓発活動と協働による取組については、まちづくりの理念である「平和の希求」を具体化するため、平和ミニコンサート及びポスター展の開催や、図書館に平和図書コーナーを設置するなど、「平和祈念行事」を継続実施した。
　他都市との連携については、162か国、7,500を超える都市や自治体により構成される平和首長会議が取り組む署名活動を行ったほか、今後とも核兵器廃絶に向けた具体的な取組が行われるよう、平和を願う国内外の都市や自治体と連携を図っていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	平和祈念事業	総務課	45	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	11	平和祈念行事数	業務取得	平和祈念のための年間行事数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	３　豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	〔４〕環境づくり
施　　策	(12) 自然保護

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎豊かで美しい自然が残っている

ラムサール条約登録湿地である宮島沼をはじめ市内に残る貴重な自然環境を維持、保全することにより、多くの人が楽しむことができる豊かで美しい自然が残っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　宮島沼の保全と活用

宮島沼水鳥・湿地センターを拠点として、地域住民や関係機関と連携しながら、自然と親しむことにより環境保全の大切さを感じることができるよう、イベントの開催や環境学習を推進する。

また、宮島沼と周辺の湖沼群、周囲の農地が国の「生物多様性保全上重要な里地里山」の一つに選定されたことから、マガン等が飛来する環境を保全するため、沼の再生やワイズユースなど、関係団体や研究機関の協力により調査を行うとともに、改善に向けた取組を進める。

２　協働による取組の推進

人と自然が共生できる社会を目指して、宮島沼ボランティアの育成と活動を支援するとともに、専門的な知識を有している専門家やボランティア団体と一緒に、自然環境保全や生物多様性に配慮した協働による活動を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	12	市内の自然環境の満足度	自然環境の保全と活用の取組の成果を市民の満足度から見る指標	↗ H25より高める 85.3%	84.7%			△ 0.6 ﾎﾟｲﾝﾄ
関連指標	27	宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数	自然環境の保全と活用の取組状況を環境学習等の行事への参加者数から見る指標	1,000人	561人			56.1%

【 施策の達成(進捗)状況 】

「市内の自然環境の満足度」については、おおむね目標値を達成している。

「宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数」については、目標値を達成できていないが、今後においても宮島沼カントリーフェスなどのイベント開催時に自然環境の保全と取組についてＰＲを行うことにより環境学習を推進する。

また、宮島沼の環境を保全するため、沼の再生やワイズユースなどの取組を進めるとともに、人と自然が共生できる社会を目指して、自然環境保全や生物多様性に配慮した活動を進める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	宮島沼水鳥・湿地センター管理運営事業	生活環境課	406	現状維持	現行の内容が最適
2	宮島沼自然環境保全基礎調査事業	生活環境課	4,868	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　　標	取 得 方 法	算　　定　　式　　等
成果指標	12	市内の自然環境の満足度	まちづくり 市民アンケート	市内の自然環境について、どのように感じていますか。1.満足 2.どちらかといえば満足　3.普通　4.どちらかといえば不満　5.不満　　1～3の回答者数／全回答者数
関連指標	27	宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数	業務取得	宮島沼に関する環境学習等への行事への年間参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	３　豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	〔４〕環境づくり
施　　策	(13) 環境行動

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地球にやさしい生活をする市民が増えていく
　多くの人が環境を大切にする意識を持ち、環境に配慮した行動を取っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 環境意識の高揚
　市民一人ひとりが身近な地域や地球規模の環境について理解を深め、環境を大切にする行動がとれるよう環境学習を推進する。
　市民が環境に対する意識を高め、環境保全活動へと結びつけるために、環境に関する情報を収集し、これらの情報が市民や事業者に有効に活用されるよう情報提供を充実させる。

２ 環境行動の実践
　市民や事業者、団体の自主的な環境保全活動や環境美化活動を促進するとともに、必要な支援を行う。
　また、市民、事業者、市との協働により、省エネに向けた取組やマイバックの利用拡大、各種イベントでのリユース食器の活用など、環境保全活動に取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	13	地球にやさしい生活をしている市民の割合	環境への負荷を減らす取組の成果を具体的な行動を行っている市民の割合から見る指標	↗ H25より高める 79.1%	75.6%			△ 3.5 ﾎﾟｲﾝﾄ
関連指標	28	エコセミナー参加者数	環境に配慮した生活や低炭素社会づくりに対する関心の度合いをセミナー参加者数から見る指標	100人	50人			50.0%
	29	美唄クリーン作戦参加者数	市民、事業者、団体との協働による環境保全活動の取組を参加者数から見る指標	670人	550人			82.1%

【 施策の達成(進捗)状況 】

　「地球にやさしい生活をしている市民の割合」については、目標値を下回っていることからエコセミナー等を通じて市民の環境意識を高めていく。
　「エコセミナー参加者数」については、目標値を達成していないが、今後においても、エコセミナーを継続して開催することにより、環境を大切にする行動がとれるよう環境学習を推進するとともに、環境に関する情報提供を充実させ、市民の環境意識の高揚を図る。「美唄クリーン作戦参加者数」については、目標値を達成していないことから、引き続き、市民・事業者等へ参加の呼びかけを行っていく。
　また、市民や事業者、団体の環境保全活動や環境美化運動を促進するための必要な支援を行い、環境行動の実践に取り組む。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	公害防止対策事業	生活環境課	1,500	現状維持	現行の内容が最適
2	環境衛生推進事業	生活環境課	8,786	現状維持	現行の内容が最適
3	野犬掃とう事業	生活環境課	375	現状維持	現行の内容が最適
4	墓地管理運営事業	生活環境課	1,089	現状維持	現行の内容が最適
5	火葬場管理運営事業	生活環境課	22,090	現状維持	現行の内容が最適
6	火葬場整備事業	生活環境課	4,143	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指 標	取得方法	算 定 式 等
成果指標	13	地球にやさしい生活をしている市民の割合	まちづくり 市民アンケート	地球環境にやさしい生活をするために行っていることはありますか。 1.節電・節水に努めている 2.自動車のアイドリングをひかえている 3.買い物にマイバックを持参している 4.洗剤などは詰め替え可能な商品を選んでいる 5.再生素材を使用した商品をなるべく選んでいる 6.ごみの分別をきちんとしている 7.生ごみは、家庭内でたい肥化してごみの減量に努めている 8.その他( ) 9.特に行っていない 1～8のうち、3つ以上行っている回答者数／全回答者数
関連指標	28	エコセミナー参加者数	業務取得	エコセミナー参加者数
	29	美唄クリーン作戦参加者数	業務取得	美唄クリーン作戦参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	３　豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	〔４〕環境づくり
施　　策	(14) ごみ処理

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎ごみの発生が抑えられ、環境に与える負荷が軽減されている
　ごみの発生・排出を少なくし、資源の積極的なリサイクルを進めることにより、環境に与える負荷を軽減する資源循環型社会に向かっていく。
　また、環境教育が行われ、ごみの適正排出についての理解が深まっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　ごみの適正処理
　ごみの分別排出の徹底により、適正分別率の向上を図り、ごみの発生抑制と資源化できるごみの適正な排出を促進していくとともに、生ごみの堆肥化施設やリサイクルセンターの適切な管理により資源循環型社会を推進していくほか、不法投棄防止に向けた啓発活動を推進していく。
　また、燃やせるごみについても、広域による中間処理施設により、適正な処理を行う。

２　ごみの減量と資源リサイクル
　サンアール推進員などと連携した啓発活動等を通じ、ごみの減量化等に対する市民意識の高揚を図るとともに、生産、流通、消費の各段階でのごみの発生抑制や排出されたごみの減量化・リサイクルの推進により、「ごみゼロ」に向けた環境について、学習会や情報交換などの取組を進める。

３　し尿の適正処理
　し尿及び浄化槽汚泥については、奈井江浄化センターにおける広域処理を適正に行っていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	14	ごみの適正分別率	ごみの適正な排出に関する意識の向上と実践度を見る指標	90.0%	77.3%			85.9%
関連指標	30	市民1人当たり年間ごみ排出量	ごみ排出量が減少しているかを測る指標	0.30t	0.32t			△0.05t
	31	ごみ不法投棄件数	ごみが適正に処理されているかを見る指標	0件	12件			12件超過
	32	リサイクル率	ごみのリサイクルの状況を見る指標	28.0%	23.8%			85.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

成果指標・関連指標については目標値を達成していないため、市の清掃指導員による巡回指導や啓発活動を継続して行っていくとともに、サンアール推進員などと連携した啓発活動を通じ、ごみの適正分別・ごみの減量化の取組を進める。

また、生ごみ堆肥化施設・リサイクルセンター・広域による焼却施設等の適切な管理により資源循環型社会を推進し、ごみの適正処理に努める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	ごみの減量化・再資源化推進事業	生活環境課	75,776	現状維持	現行の内容が最適
2	リサイクルセンター管理運営事業	生活環境課	19,852	現状維持	現行の内容が最適
3	ごみ収集運搬等事業	生活環境課	117,779	現状維持	現行の内容が最適
4	最終処分場・生ごみ堆肥化施設等管理運営事業	生活環境課	129,026	見直し	方法の工夫・改善
5	ごみ処理センター管理運営事業	生活環境課	5,979	現状維持	現行の内容が最適
6	し尿収集運搬等事業	生活環境課	39,044	現状維持	現行の内容が最適
7	し尿共同処理施設管理運営事業	生活環境課	27,670	現状維持	現行の内容が最適
8	ごみ広域処理焼却施設管理運営事業	生活環境課	82,172	現状維持	現行の内容が最適
9	ごみ運搬車整備事業	生活環境課	15,304	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	14	ごみの適正分別率	業務取得	適正分別排出量(可燃ごみ総排出量×組成分析より算出した可燃ごみ適正分別率＋不燃ごみ総排出量×組成分析より算出した不燃ごみ適正分別率)／ごみ総埋立量
関連指標	30	市民1人当たり年間ごみ排出量	業務取得	年間ごみ収集量／年度末住民基本台帳人口
	31	ごみ不法投棄件数	業務取得	市で対応した年間不法投棄件数
	32	リサイクル率	業務取得	資源ごみ収集量／ごみ総排出量

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	３　豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	〔５〕うるおいづくり
施　　策	(15) 都市基盤整備

【 主管課及び関係課 】

主管課：都市建築住宅課

関係課：都市整備課、水道課
　　下水道課

【 施策の目指すべき姿 】

◎機能的な都市基盤が整っている
　道路や下水道など、市民生活を送る上で必要な都市基盤が整い、機能的な都市環境ができている。
　環境へ配慮、安全で安心して住めるまちづくり、中心市街地の高齢者等が安心して入居できる住宅の供給、快適でゆとりある居住環境ができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　土地利用と道路交通網などの整備
　人口規模に見合ったコンパクトな市街地の形成に向けて、現在の市街地を基本とした用途地域の見直しを行うなど、秩序ある都市空間づくりを進める。
　道路整備を継続するとともに、橋りょうの計画的な改修、道路ストックの点検を行い道路利用者の安全確保に努めるほか、国道12号の4車線化及び道道美唄富良野線の早期完成に向けた要望を継続して行う。
　道路の除排雪については、広域ブロック化に基づいた効率的な除排雪を行い、冬期の安全な生活と交通を確保する。また、景観に配慮した公共サインの整備を進める。

２　公営住宅
　人口減少・高齢化の影響やコンパクトなまちづくりの方向性に対応した住環境づくり、居住環境の向上を進めながら、公営住宅の計画的な更新と整備を進めていく必要があることから、美唄市住生活基本計画、公営住宅等長寿命化計画に基づき、今後予定している建替えや集約について需要把握による適正な供給戸数の検討による再編を進めるとともに、既存の公営住宅の適切な維持管理、耐久性の向上、日常的な点検による計画的な修繕などの予防保全に努める。

３　上下水道
　上水道については、公営企業として企業経営の安定性や水道事業の効率化を図ることを目的に桂沢水道企業団と構成3市による水道事業統合に向けた検討を行うとともに、水道施設や水質管理を徹底し、安全で安定した水道水の供給を図る。
　下水道については、美唄市流域関連公共下水道事業計画に合わせ、事業計画区域内の未整備地区を計画的に整備を進め、普及率の向上を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	15	都市機能の満足度	都市基盤整備の成果をJR美唄駅を中心とした都市機能に対する市民の満足度から見る指標	↗ H25より高める 68.3%	63.6%			△ 4.7 ﾎﾟｲﾝﾄ
関連指標	33	道路舗装率	道路整備の状況を舗装率から見る指標	57.5%	54.1%			94.1%
	34	道路除排雪の満足度	道路除排雪に関する成果としての市民満足度を測る指標	↗ H25より高める 53.6%	66.9%			＋13.3 ﾎﾟｲﾝﾄ
	35	下水道普及率	生活基盤整備の達成度を、計画的に整備を進めている下水道の普及率から見る指標	87.5%	80.7%			92.2%

【 施策の達成(進捗)状況 】

道路新設改良事業については、西21線の舗装、美培線の改良舗装、拓北・峰樺西7号線、開発・峰延西5号線の舗装、西美唄地区ほか2地区の簡易舗装、南美唄地区ほか2地区の側溝整備を実施した。

また、都市計画街路整備事業については、東4条南6丁目地区ほか2地区の改良舗装、西4条北6丁目地区ほか2地区の側溝整備を実施した。

なお、道路改良率は70.0%、道路舗装率は54.1%となった。

橋りょうについては、省令・告示に基づく定期点検を127橋実施し、橋梁長寿命化修繕計画に基づき奔美唄橋の修繕を実施した。

町内会などが設置するLED街路灯については、883灯の助成を実施した。

除排雪については、市民生活や経済活動の基盤となる道路交通網を確保するため、効率的な除排雪の実施に努めた。また、中心市街地についても、民間との協力・連携した除排雪を実施した。

上水道については、公営企業の事業経営の安定を図るため経費の削減に努め、水道事業の効率化を目的に桂沢水道企業団と構成3市による水道事業統合に向けた検討を継続して進めることとする。

また、安全な水を安定して供給するため、老朽化した配水管等の改良事業を実施し、有収率向上と赤水の解消に努め、水道管の耐震化を進めるとともに、水質管理の徹底のため浄水場施設の老朽設備更新を実施した。

下水道については、石狩川流域下水道中部処理区事業を引き続き実施するとともに、茶志内・峰延地区汚水整備を実施し、汚水処理区域の拡大と水洗化の促進に努めた。

なお、普及率は80.7%、水洗化率は94.3%となった。

今後は、光珠内地区の未整備地区について計画的に整備を進め、普及率の向上を図ることとする。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	都市計画一般管理事務	都市建築住宅課	3,377	見直し	方法の工夫・改善
2	土木一般管理事務	都市整備課	2,293	見直し	方法の工夫・改善
3	道路台帳更新事務	都市整備課	4,212	現状維持	現行の内容が最適
4	都市計画街路整備事業	都市整備課	34,652	見直し	拡　充
5	道路新設改良事業	都市整備課	191,094	見直し	拡　充
6	道路維持管理事業	都市整備課	154,716	見直し	拡　充
7	橋りょう維持管理事業	都市整備課	3,293	見直し	拡　充
8	除排雪事業	都市整備課	387,963	見直し	方法の工夫・改善
9	中心市街地除排雪事業	都市整備課	20,559	現状維持	現行の内容が最適
10	街路灯補助事業	都市整備課	28,381	現状維持	現行の内容が最適
11	交通安全施設整備事業	都市整備課	4,403	見直し	拡　充
12	橋りょう新設改良事業	都市整備課	60,664	見直し	拡　充
13	河川整備事業	都市整備課	11,538	見直し	拡　充
14	河川維持管理事業	都市整備課	7,366	見直し	拡　充
15	市営住宅用途廃止事業	都市建築住宅課	7,593	終　了	事業完了
16	市営住宅維持管理事業	都市建築住宅課	33,913	見直し	方法の工夫・改善
17	公営住宅改善事業	都市建築住宅課	17,240	現状維持	現行の内容が最適
18	住宅改修促進助成事業	都市建築住宅課	5,056	現状維持	現行の内容が最適
19	建築指導事務	都市建築住宅課	94	見直し	方法の工夫・改善
20	汚水整備事業	下水道課	161,965	現状維持	現行の内容が最適
21	雨水整備事業	下水道課	37,229	現状維持	現行の内容が最適
22	個別排水処理施設整備事業	下水道課	17,108	現状維持	現行の内容が最適
23	個別排水処理施設維持管理事業	下水道課	24,089	現状維持	現行の内容が最適

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
24	受益者負担金賦課徴収事務	下水道課	51,162	現状維持	法令等の定めあり
25	下水道使用料賦課徴収事務	下水道課	31,584	現状維持	法令等の定めあり
26	水洗便所普及促進事業	下水道課	3,093	現状維持	現行の内容が最適
27	下水道管渠維持管理事業	下水道課	40,013	現状維持	現行の内容が最適
28	石狩川流域下水道組合事業	下水道課	56,134	現状維持	現行の内容が最適
29	石狩川流域下水道整備事業	下水道課	15,761	現状維持	現行の内容が最適
30	道路ストック総点検(橋りょう)事業	都市整備課	68,373	現状維持	現行の内容が最適
31	除雪機械整備事業	都市整備課	58,440	終　了	事業完了
32	水道事業	水道課	749,174	現状維持	現行の内容が最適
33	上水道増補改良事業	水道課	183,808	現状維持	現行の内容が最適
34	工業用水道事業	水道課	64,962	現状維持	現行の内容が最適
35	浄水場施設改良事業(水道)	水道課	41,051	現状維持	現行の内容が最適
36	工業用水道増補改良事業	水道課	16,740	現状維持	現行の内容が最適
37	浄水場施設改良事業(工水)	水道課	41,051	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	15	都市機能の満足度	まちづくり 市民アンケート	JR美唄駅を中心とした道路や公共交通の状況、公園の配置など、都市機能全体について、どのように感じていますか。1.満足している　2.やや満足　3.普通　4.やや不満　5.不満 1～3の回答者数／全回答者数
関連指標	33	道路舗装率	業務取得	舗装済市道延長／市道延長
	34	道路除排雪の満足度	まちづくり 市民アンケート	冬期間の道路や歩道の除排雪の状況について、どのように感じていますか。 1.満足　2.どちらかといえば満足　3.普通　4.どちらかといえば不満　5.不満 1～3の回答者数／全回答者数
	35	下水道普及率	業務取得	処理区域内人口／年度末住民基本台帳人口

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	３　豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	〔５〕うるおいづくり
施　　策	(16) 景観・緑づくり

【 主管課及び関係課 】

主管課：都市整備課

関係課：農林整備課

【 施策の目指すべき姿 】

◎景観づくりの活動が広がっている
　花や緑にあふれたうるおいのある景観を楽しむことができるように、市民との協働で景観づくりが進んでいる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 景観づくり
　公園を適切に維持管理するとともに、公園施設長寿命化計画に基づき施設の更新や高齢者など様々な年齢層が利用できる施設の整備及び施設点検による修繕等を行うとともに、緑の基本計画を策定し、市民と市との協働で花木の植栽などの景観の向上や緑づくりに向けた活動を広げていく。
　また、今ある優れた景観を掘り起こす「美唄百景」の取組を継続するとともに、都市景観、農村景観、自然環境、歴史的環境の保全や活用及び発信方法などについて、検討していく。

２ 森林の保全と活用
　森林の効果や多面的機能を理解してもらうため、市民が森林を体験し身近に感じる機会の充実を図っていく。
　また、私有林の伐採後の植林活動を北海道と共に支援し、適正な保全管理を行うことで森林面積の維持に努める。
　地球温暖化防止に向けた取り組みについては、個人や団体による環境貢献活動の必要性を唱え、美唄市森林整備計画に基づく森林の保全と植樹の推進に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	16	公園管理ボランティア実施回数	地域が主体となった景観づくりの実践状況を見る指標	H25より高める 28回	22回			78.6%
関連指標	36	公園・緑地の利用率	公園・緑地の適正管理の状況を利用率から見る指標	H25より高める 44.4%	38.3%			△ 6.1 ﾎﾟｲﾝﾄ
	37	森林面積	森林面積が維持されている状況を見る指標	12,266ha	12,244ha			99.8%
	38	除伐・間伐面積	森林を適正に生育するために実施する事業量	26ha	12ha			45.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

地域の景観の向上や緑づくりに向けた活動については、市内1団体(1町内会)で花壇づくりと花の植え付けが行われた。
市民の方々への活動紹介として、広報紙メロディーや市ホームページでの情報発信、市役所(1階ロビー)、ふれあいサロン(コアビバイ内)でのパネル展示などにより紹介を行った。
公園・緑地については、利用率が目標値を下回る結果となったことから、老朽化が進む公園施設の再整備が必要となっている。公園施設長寿命化計画に基づき平成28年度は、遊具の再整備を実施した。今後も計画的に公園施設の再整備を行うことで公園・緑地の利用率向上を図る。
森林については、国・道と連携して、森林所有者に対し植林や適正管理に関する情報提供や支援を行っている。
また、一般の方々にも森林の役割について広く理解していただけるよう、市内の山林を活用し、小学生や保護者を対象とした森林体験学習会を実施している。
今後もこれらの取組を通じて、森林の保全とその必要性に関する意識の向上を図っていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	公園維持管理事業	都市整備課	45,108	見直し	拡充
2	公園施設等再整備事業	都市整備課	9,137	現状維持	現行の内容が最適
3	緑化管理推進事業	都市整備課	9,054	見直し	拡充
4	コミュニティガーデン整備事業	都市整備課	34	見直し	方法の工夫・改善
5	林業振興一般管理事務	農林整備課	1,292	見直し	拡充
6	防風林維持管理事業	農林整備課	2,666	見直し	方法の工夫・改善
7	そらち森林組合補助事業	農林整備課	1,040	現状維持	現行の内容が最適
8	未来につなぐ森づくり推進事業	農林整備課	548	現状維持	現行の内容が最適
9	市有林保育管理事業	農林整備課	895	見直し	拡充
10	分収造林受託事業	農林整備課	4,534	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	16	公園管理ボランティア実施回数	業務取得	公園管理ボランティア実施回数
関連指標	36	公園・緑地の利用率	まちづくり市民アンケート	市内の公園や緑地をどれくらい利用していますか。 1.よく利用する(週に数回) 2.ときどき利用する(月に数回) 3.たまに利用する(年に数回) 4.ほとんど利用しない 1～3の回答者数／全回答者数
	37	森林面積	北海道林業統計	市内の国有林・道有林・市有林・民有林面積の合計
	38	除伐・間伐面積	業務取得	市内の国有林・道有林・市有林・民有林面積の除伐・間伐面積の合計

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	〔６〕健康づくり
施　　策	(17) 保健

【 主管課及び関係課 】

主管課：健康推進課

関係課：市民課

【 施策の目指すべき姿 】

◎市民主体の健康づくりが行われている

市民一人ひとりが心身の状態に合わせて、安心してこころ豊かな生活を送ることができるよう、健康を意識した生活習慣が身につく。

また、地域全体による積極的な健康づくりが行われるなど、市民が主体となって、健康の意識を高めあえる健康なまちになっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ ライフステージに応じた健康づくり

ライフステージに応じた健康な生活を送ることができるよう、各ライフステージに生じやすい健康や生活の問題を解決していくために、乳幼児期からの生活習慣病予防に視点を置いた食生活や運動などのよりよい生活習慣の定着を図る。

健康診査やがん検診などの推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化を予防するほか、加齢に伴う体調の変化に応じた介護予防について家庭訪問・健康相談を総合的に行い、きめ細かな支援を継続する。

２ 地域主体の健康づくり

市内で生産される農作物や食文化を生かした食の健康づくり、豊かな環境を生かした運動の取組、人と人とのつながりを生かしたこころの健康づくりを地域と協働で実施する。

また、小学校区を基盤に、高齢になっても住み慣れた地域で生活できることを目的とした集いや、子どもがこころ豊かに育つ地域づくりをめざした世代間交流事業を健康づくり組織、市民組織(主任児童委員・すきやき隊等)と協働で実施する。このような市民が主役となって健康の意識を高め、支え合えるよう地域主体の健康づくりを引き続き支援する。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度(進捗度)
				H32	H28			
成果指標	17	自分が健康だと思う市民の割合	健康づくりの取組により自分が健康だと思う市民がどの程度いるかを見る指標	70.0%	71.1%			101.6%
関連指標	39	健康づくりを行っている市民の割合	健康への関心が高まり、健康づくりを実践している市民の割合を見る指標	75.0%	60.8%			81.1%
	40	1年間で健診を受診した市民の割合	健康管理に対する意識の高まりを定期的に健診を受けている市民の割合から見る指標	75.0%	62.6%			83.5%
	41	地域が主体となって健康づくりに取り組んでいる活動数	地域が主体又は市と協働で健康づくりに取り組んでいるかを見る指標	950回	399回			42.0%
	42	喫煙している成人市民の割合	成人が習慣的に喫煙しているかを見る指標	推移を見る指標なので目標値は設定しない	24.9%			

【 施策の達成(進捗)状況 】

ライフステージに応じた健康づくりについては、妊娠・出産・子育て期には親子の健やかな成長への食生活・子育て等の支援、学童・思春期には喫煙防止教育、食育、性教育、青壮年期には生活習慣病予防、メンタルヘルスに関する支援、高齢期には生活機能低下予防のための健康増進、健康づくり事業を実施した。

びばいヘルシーライフ21(第2期)の重点テーマ「運動、喫煙・受動喫煙」について、運動は、新たに運動を推進する担い手となる運動推進員を養成したほか、すこやかウォーキングやび～助健康体操を継続的に実施し、喫煙・受動喫煙防止については、美唄市受動喫煙防止条例を施行し、市民や事業所等への周知啓発に加え、協力を求める看板の設置など環境整備に努めた。

課題としては、平成28年度国民健康栄養調査による全国の喫煙率18.3%であるのに対し、本市の喫煙率は24.9%と6.6ポイント高く、特に働く世代で高い傾向にあることから、禁煙支援と受動喫煙防止対策を進めるほか、市民一人ひとりが健康に関心を持ち、運動や食生活を通して、主体的に健康づくりを進めることのできる動機づけとその支援を進める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	保健衛生管理事務	健康推進課	4,883	現状維持	現行の内容が最適
2	保健センター管理運営事務	健康推進課	3,594	現状維持	現行の内容が最適
3	食の健康づくり事業	健康推進課	111	見直し	方法の工夫・改善
4	妊産婦健康増進事業	健康推進課	7,042	現状維持	現行の内容が最適
5	高齢者健康づくり事業	健康推進課	782	現状維持	現行の内容が最適
6	高齢者健康増進事業	健康推進課	338	見直し	方法の工夫・改善
7	健康づくり啓発事業	健康推進課	777	見直し	方法の工夫・改善
8	健康づくり組織活動推進事業	健康推進課	1,276	現状維持	現行の内容が最適
9	中高年健康づくり事業	健康推進課	478	現状維持	現行の内容が最適
10	中高年疾病予防事業	健康推進課	15,782	現状維持	現行の内容が最適
11	機能回復訓練事業	健康推進課	22	現状維持	現行の内容が最適
12	エキノコックス症予防事業	健康推進課	228	見直し	拡　充
13	定期予防接種事業	健康推進課	31,606	現状維持	法令等の定めあり
14	ひとり親家庭等医療費助成事業	市民課	11,583	現状維持	現行の内容が最適
15	重度心身障がい者医療費助成事業	市民課	84,888	現状維持	現行の内容が最適
16	保育所フッ化物洗口推進事業	こども未来課	101	現状維持	現行の内容が最適
17	幼小フッ化物洗口推進事業	学務課	202	現状維持	現行の内容が最適
18	国民健康保険事業(1款 総務費～8款 保険事業費の合計)	市民課	3,638,061	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	17	自分が健康だと思う市民の割合	まちづくり市民アンケート	自分が健康だと思いますか。 1.健康だと思う　2.どちらかといえば健康だと思う　3.どちらかといえば健康ではないと思う　4.健康ではないと思う 1.2の回答者数／全回答者数
関連指標	39	健康づくりを行っている市民の割合	まちづくり市民アンケート	健康づくりのために取り組んでいることはありますか。 1.睡眠で十分な休養をとる　2.たばこを吸わない　3.たばこの煙の影響を受けないようにする　4.適正な体重を維持する　5.週2回は自分なりに心地よくからだを動かす　6.適量を守って飲酒する　7.栄養のバランスを考えた食事をする　8.塩分をひかえる　9.ストレスと上手に付き合うようにする　10.年１回は歯科健診を受ける　11.その他(　)　12.特に取り組んでいない 1から11のうち、3つ以上取り組んでいる回答者数／全回答者数
	40	1年間で健診を受診した割合	まちづくり市民アンケート	この1年間に健康診断を受けましたか。 1.職場主催の健康診断を受診　2.農協組合員向けの人間ドックを受診　3.市(保健センター)主催の健康診断を受診　4.個人で医療機関に行き健康診断を受診　5.その他(　)　6.健康診断は受けていない　1～5の回答者数／全回答者数
	41	地域が主体となって健康づくりに取り組んでいる活動数	業務取得	地域主体で健康づくりが推進されている活動数
	42	喫煙している成人市民の割合	まちづくり市民アンケート	20歳以上の方におたずねします。あなたは、現在たばこを吸っていますか。1.吸う　2.吸わない 1の回答者数/全回答者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	〔６〕健康づくり
施　　策	(18) 地域医療

【 主管課及び関係課 】

主管課：医療等拠点づくり推進室

関係課：健康推進課、市立美唄病院

【 施策の目指すべき姿 】

◎医療と保健、福祉、介護との連携ができている

市民が住み慣れた地域で安心して生活できる医療が受けられるとともに、保健、福祉、介護との連携体制ができている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　地域医療体制

市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、美唄市地域医療再構築プランに基づき、少子高齢社会に対応した保健・福祉・介護との包括的な連携システムの構築に向けた取組を進めるとともに、北海道が策定する地域医療構想との整合性を図りながら、医療と保健福祉の総合的な施設整備に向けた取組を進める。

また、救急医療については、地元医師会や近隣中核病院と緊密な連携を図り、救急搬送や救急医療体制を確保していく。

２　市立美唄病院

美唄市地域医療再構築プランによる連携基幹病院として、保健・福祉・介護との連携を図り、在宅医療や予防医療に取り組むとともに、信頼される病院づくりを目指して、優れた人材の確保と研修などによる育成に努めるなど運営体制の充実を図っていく。

また、経営の安定化を進めるとともに、施設の規模・機能を再編し、老朽化施設の建て替え整備を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	18	人口10万人当たり医師数	市内の医師数を他市町村と比較するため、人口10万人に換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しない	(H26) 185.7人			
関連指標	43	人口10万人当たり病床数	市内の病床数を他市町村と比較するため、人口10万人に換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しない	(H26) 1,843.9床			
	44	市立美唄病院病床利用率	市立美唄病院の病床の稼働率を見る指標	73.0%	67.4%			△5.6 ﾎﾟｲﾝﾄ
	45	市立美唄病院経常収支比率	市立美唄病院の経常収益と経常費用を対比した指標	107.0%	101.4%			△5.6 ﾎﾟｲﾝﾄ

【 施策の達成(進捗)状況 】

地域医療については、平成24年3月に市内の医療機関の代表者で構成する「地域医療体制の在り方検討委員会」でまとめた今後の地域医療提供体制の方向性を踏まえ、平成25年3月に医療をはじめ保健、福祉、介護との連携を進めていくうえで指針となる「地域医療提供体制ビジョン」を策定した。

平成26年3月には、本ビジョンを踏まえ、本市の地域医療を再構築するための行動計画として、「地域医療再構築プラン」を策定した。

平成26年度から、本プランに基づき、保健・福祉・介護との包括的な連携システムの構築に向けた取組として「美唄市在宅医療・介護多職種ネットワーク会議」を設立した。また、総合的な保健福祉施設及び市立美唄病院の整備に向けた検討委員会を設置し協議を行い、平成29年3月「基本構想・基本計画を策定した。

今後は、地域医療構想との整合性を図りながら、医療と保健福祉の総合的な施設整備に向け基本設計、実施設計を進めていく。

市立美唄病院については、平成21年度から平成27年度までの7年間を期間とする「市立美唄病院経営健全化計画」が計画を達成し、不良債務を解消した。今後は、平成28年度に策定した「市立美唄病院改革プラン」を推進し、引き続き健全経営に取り組むとともに病院施設の規模・機能を再編し、老朽化施設の建て替え整備を進める。

また、医師会等の協力を得て救急医療体制の維持存続に努めたほか、医療機器の整備や医療スタッフの確保に努めた。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	市立美唄病院事業	病院事務局	1,556,327	見直し	方法の工夫・改善
2	救急医療啓発普及事業	健康推進課	4,531	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	18	人口10万人当たり医師数	北海道保健統計年報	北海道保健統計年報の数値 ※統計調査は2年に1度実施され、集計結果は調査実施年の2年後に公表される 調査実施年：H24、H26、H28　数値公表年：H26、H28、H30
関連指標	43	人口10万人当たり病床数	北海道保健統計年報	北海道保健統計年報の数値 ※統計調査実施年及び公表年は、上記と同じ
	44	市立美唄病院病床利用率	業務取得	年間延べ入院患者数／年間延べ病床数
	45	市立美唄病院経常収支比率	業務取得	経常収益／経常費用

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	〔７〕福祉のまちづくり
施　　策	(19) 障がい者福祉

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域福祉課

【 施策の目指すべき姿 】

◎障がい者が暮らしやすい環境になっている
　福祉サービスの充実が図られるとともに障がい者やその家族も役割を担いながら、一人ひとりが個性ある人間として尊重され、住みなれた地域で安心して暮らし続けられるようになる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 障がい者福祉サービス
　障がい者が住みなれた地域で安心して暮らし続けられるよう様々な支援を切れ目なく提供するため、事業者との連携を強化しサービス利用計画の作成やモニタリングを行い、充実したサービス提供体制の構築を継続して進める。

２ 障がい者の地域での生活
　障がい者の生活を地域全体で支えるしくみを推進するため、緊急時の相談や親元からの自立など、障がい者やその家族からの相談の体制を強化するとともに、福祉サービスの利用や一人暮らしなど体験の機会や場を提供するなど、地域の事業者が機能分担をして支援体制を確立していく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	19	地域で生活できている障がい者の割合	障がい者の自立に向けた取組の成果を地域で生活できている障がい者の割合で見る指標	96.7%	96.0%			99.3%
関連指標	46	入所待機障がい者数	待機者の増減により、施設配置の充実度を測る指標	0人	4人			4人超過
	47	サービス等利用計画の作成件数	地域生活等を支えるサービスの充実度を計画件数の推移から見る指標	200件	429件			214.5%

【 施策の達成(進捗)状況 】

障がい者福祉サービスでは、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを目指し、手話ができない中途失聴・難聴者を対象とした要約筆記者派遣事業や難病者を含む福祉サービスを促進するとともに、更には障がいに対する理解と啓発においても事業を継続し、サービスの普及と提供に努めてきた。

成果指標については、障がい者と同居する親や親族の高齢化による施設入所の割合も増える一方で地域に移行する障がい者も考慮し関係機関とも連携して施策目標の達成に努めていく。

障がい者への就労機会の確保では、就労相談支援の充実による就労継続支援B型事業所への作業訓練の機会を増やしたり、障害者優先調達法による物品調達の推進を図ったり、障害者就労施設への経済基盤を普及推進しているところである。

今後においても障がい者の居宅サービスの充実と就労機会の確保に努めるため、障がい者地域自立支援協議会において障がい福祉サービスの施策の拡充について検討していく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	手話通訳者設置・派遣事業	地域福祉課	3,987	現状維持	現行の内容が最適
2	障がい者スポーツ大会参加補助事業	地域福祉課	135	現状維持	現行の内容が最適
3	障がい者居宅介護等事業	地域福祉課	21,415	現状維持	法令等の定めあり
4	障がい者在宅支援事業	地域福祉課	1,938	現状維持	現行の内容が最適
5	障がい者在宅福祉一般管理事務	地域福祉課	1,556	現状維持	現行の内容が最適
6	障がい者相談支援事業	地域福祉課	16,783	現状維持	法令等の定めあり
7	障がい者福祉一般管理事務	地域福祉課	508	現状維持	現行の内容が最適
8	障がい者グループホーム支援事業	地域福祉課	144,281	現状維持	法令等の定めあり
9	障がい者移動支援等事業	地域福祉課	2,621	現状維持	法令等の定めあり
10	特別障がい者手当等支給事業	地域福祉課	8,386	現状維持	法令等の定めあり
11	日常生活用具等給付事業	地域福祉課	8,722	現状維持	法令等の定めあり
12	補装具給付事業	地域福祉課	10,724	現状維持	法令等の定めあり
13	特定疾患患者等支援事業	地域福祉課	270	現状維持	現行の内容が最適
14	更生医療給付事業	地域福祉課	27,722	現状維持	法令等の定めあり
15	精神障がい者地域生活支援事業	地域福祉課	535	現状維持	現行の内容が最適
16	恵愛団地集会所管理運営事業	地域福祉課	155	現状維持	現行の内容が最適
17	施設利用支援事業	地域福祉課	591,329	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	19	地域で生活できている障がい者の割合	業務取得	(市内障がい者数－施設入所者数－長期入院者数)／市内障がい者数
関連指標	46	入所待機障がい者数	業務取得	入所待機障がい者数
	47	サービス等利用計画の作成件数	業務取得	サービス等利用計画の作成件数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	４　誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	〔７〕福祉のまちづくり
施　　策	(20) 高齢者福祉

【 主管課及び関係課 】

主管課：高齢福祉課

関係課：恵風園、恵祥園

【 施策の目指すべき姿 】

◎高齢者が持てる力を発揮し、いきいきと暮らしている
　高齢者は健康寿命の延伸に努め、高齢者自身も見守りや生活支援などの支援者となり、地域の中で互いに協力しあい、生きがいを持ち、楽しく生活できている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　高齢者の総合的な生活支援
　高齢者が元気なうちから介護予防に取り組み、自立した生活が続けられるよう支援する。また、今後増加が見込まれる認知症高齢者への対応を進めるとともに、支援や介護を必要とする状態になっても住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう、保健、医療、福祉関係者が連携して各種サービスの提供を図り、地域包括支援センターを中心とした地域包括ケア体制を進める。

２　生きがいづくり
　老人クラブ活動や高齢者の雇用の場としてのシルバー人材センターの活動など高齢者の経験や知識、技能を地域社会で生かすことができるよう活動を支援するとともに、生涯学習や生涯スポーツなどの多様な社会活動への参加を促進する。

３　社会保障制度の運用
　各種の社会保険制度については、少子高齢化が進み医療費が増え続けていく中、高齢者の方が安心して医療を受けられるための後期高齢者医療制度や介護が必要であると認定された場合にサービスを利用できる介護保険制度など、利用者が安心できるような制度運営を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	20	自立高齢者率	保健や介護予防の取組により要介護者がどの程度抑えられているかを見る指標	82.0%	81.6%			99.5%
関連指標	48	生きがいを持っている高齢者の割合	生きがいをもって暮らしている高齢者の達成度を測る指標	78.0%	63.8%			81.8%
	49	シルバー人材センター会員数	社会参加の状況をシルバー人材センター会員数から見る指標	245人	228人			93.1%

【 施策の達成(進捗)状況 】

昨年度に引き続き、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるために、地域包括ケアシステムの推進に取り組んだ。

高齢者の総合的な生活支援としては、高齢者が自立した生活を送れるように、貯筋体操等の介護予防を推進した。また、虚弱や疾病等をきっかけに、家での生活が困難になった方々が安心して生活できるように、地域包括支援センターが中心となり、相談、支援を行った。結果として、目標値までは達成していないが、自立高齢者数は大きく減ることなく維持されている。

高齢者が生きがいを持ち生活できるために、シルバー人材センターや老人クラブの活動が活性化されることを目指し、市と共同で各種事業を実施したり、健康講座を実施してきた。結果として、目標値までは達成していない。来年度からは生活支援体制整備事業を実施し、高齢者が地域の支えあいの一役を担うことができるよう、新たな取組を開始する。

高齢者が安心して社会保障制度を利用できるために、まずは、介護保険制度の入り口である、要介護認定を迅速に受けることができるための職員体制を整えた。また、介護保険制度を安心して利用できるために、地域に出向き、市民向けの出前講座を行ったほか、適正に介護保険制度が営まれるように、介護サービス事業所への立ち入り調査等を実施した。介護サービス利用に当たっての市民からの声は好意的なものが増えており、今後も市民が利用しやすい体制を考えていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	食事サービス事業(介護予防事業分)	高齢福祉課	2,681	終了	廃止
2	介護予防把握事業	高齢福祉課	23,933	現状維持	法令等の定めあり
3	一般介護予防事業	高齢福祉課	4,342	現状維持	法令等の定めあり
4	生活支援短期宿泊事業	高齢福祉課	1,425	現状維持	法令等の定めあり
5	介護予防マネジメント事業	高齢福祉課	31,215	現状維持	法令等の定めあり
6	食事サービス事業(任意事業分)	高齢福祉課	13,615	現状維持	法令等の定めあり
7	高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	高齢福祉課	4,926	現状維持	法令等の定めあり
8	家族介護用品支給事業	高齢福祉課	579	現状維持	法令等の定めあり
9	家族介護者交流事業	高齢福祉課	282	現状維持	法令等の定めあり
10	認知症高齢者やすらぎ支援訪問員派遣事業	高齢福祉課	240	現状維持	法令等の定めあり
11	老人福祉施設入所措置事業	高齢福祉課	107,781	現状維持	法令等の定めあり
12	老人クラブ連合会運営補助事業	高齢福祉課	1,500	現状維持	現行の内容が最適
13	単位老人クラブ運営費等補助事業	高齢福祉課	1,388	現状維持	現行の内容が最適
14	福祉スポーツ大会事業	高齢福祉課	610	現状維持	現行の内容が最適
15	老人福祉一般管理事務	高齢福祉課	94	現状維持	現行の内容が最適
16	緊急通報システム管理運営事業	高齢福祉課	559	現状維持	現行の内容が最適
17	間口除雪事業	高齢福祉課	8,637	現状維持	現行の内容が最適
18	福祉灯油事業	高齢福祉課	1,211	現状維持	現行の内容が最適
19	移送サービス事業	高齢福祉課	790	現状維持	現行の内容が最適
20	地域包括支援センター運営事業	高齢福祉課	7,970	現状維持	現行の内容が最適
21	社会福祉法人等利用者負担軽減事業	高齢福祉課	678	現状維持	法令等の定めあり
22	介護給付適正化事業	高齢福祉課	72	現状維持	法令等の定めあり
23	恵風園生活事務	恵風園	53,325	見直し	方法の工夫・改善
24	恵風園管理事務	恵風園	26,938	見直し	方法の工夫・改善
25	応急生活資金貸付事業	地域福祉課	3,000	現状維持	現行の内容が最適
26	社会福祉一般管理事務	地域福祉課	155	現状維持	現行の内容が最適
27	生活保護事務	地域福祉課	13,162	現状維持	現行の内容が最適
28	生活保護扶助事業	地域福祉課	1,067,298	現状維持	法令等の定めあり
29	市民後見人等養成・活用事業	高齢福祉課	1,100	現状維持	法令等の定めあり

	事　務　事　業　名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
30	地域包括支援システム改修事業	高齢福祉課	831	現状維持	法令等の定めあり
31	臨時福祉給付金給付事業	臨時福祉給付金推進室	43,419	終　了	事業完了
32	臨時福祉給付金(経済対策分)給付事業	臨時福祉給付金推進室	1,424	現状維持	法令等の定めあり
33	生活困窮者自立支援事業	地域福祉課	8,249	現状維持	現行の内容が最適
34	東地区生活支援センター整備事業	高齢福祉課	12,982	現状維持	現行の内容が最適
35	認知症施策の推進事業	高齢福祉課	2,029	現状維持	法令等の定めあり
36	訪問型サービス事業	高齢福祉課	14,144	現状維持	法令等の定めあり
37	通所型サービス事業	高齢福祉課	27,917	現状維持	法令等の定めあり
38	高額介護相当サービス費等事業	高齢福祉課	139	現状維持	法令等の定めあり
39	介護予防支援事業	高齢福祉課	4,930	現状維持	法令等の定めあり
40	在宅医療・介護連携推進事業	高齢福祉課	177	現状維持	現行の内容が最適
41	成年後見人制度利用支援事業	高齢福祉課	18	現状維持	法令等の定めあり
42	介護ロボット等導入支援事業	高齢福祉課	927	現状維持	法令等の定めあり
43	低所得の高齢者向け給付金給付事業	臨時福祉給付金推進室	129,061	終　了	事業完了
44	介護保険給付事業(2款 保険給付費の事業合計)	高齢福祉課	2,346,297	現状維持	法令等の定めあり
45	介護保険事業(1款 総務費の事業合計)	高齢福祉課	50,901	現状維持	法令等の定めあり
46	介護サービス事業(恵祥園整備事業を除く、1款 総務費と2款 サービス事業費の合計)	恵祥園	209,814	見直し	方法の工夫・改善
47	後期高齢者医療事業(1款 総務費と2款 北海道後期高齢者医療広域連合納付金の合計)	市民課	776,029	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算　定　式　等
成果指標	20	自立高齢者率	業務取得	65歳以上の市民のうち要支援・要介護認定を受けていない市民の割合
関連指標	48	生きがいを持っている高齢者の割合	まちづくり 市民アンケート	いま生きがいをもって暮らしていますか。 1.はい　2.いいえ 65歳以上の1の回答者数／65歳以上の回答者数
	49	シルバー人材センター会員数	業務取得	シルバー人材センターの会員数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	５　安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	〔８〕安全づくり
施　　策	(21) 防災・防犯・交通安全

【 主管課及び関係課 】

主管課：危機管理対策室

関係課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安全、安心な地域体制が整備される

地域が一体となって、防災活動や防犯活動、交通安全活動を行うことで、安全で安心な地域が実現している。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 防災

総合的な防災体制の強化や耐震化への対応とともに、自主防災組織の組織化を進め、防災訓練の実施や防災意識の向上により、災害に強い安全で安心な地域づくりを進める。

また、企業、各団体等とも連携を取りながら、住民自らが生命・財産を守る防災訓練についても支援を行う。

河川の洪水等については、被害を防止するため、国の河川整備の早期完成に向けた要望を継続するほか、市の管理する河川は草刈りなどの維持管理を適切に行う。

２ 防犯

地域の防犯力を高めるうえで大きな役割を果たす自主防犯組織の設立を進め、防犯パトロールを地域的に広げるとともに、警察や防犯協会、暴力追放運動推進協議会と連携をとりながら、犯罪者等が近寄らないまちづくりを進める。

３ 交通安全

交通安全3ゼロ運動推進協議会と連携のうえ、幼稚園児や小学校低学年の生徒を対象とした「青空教室」や、小学校中学年を対象とした「自転車教室」、老人クラブを対象にした「高齢者交通安全教室」を開催し、交通事故の被害者となりやすい各世代に対して交通安全の重要性を伝えていく。

また、安全運転、シートベルトの着用、飲酒運転の撲滅などに関して、重点的な啓発活動を実施するとともに、警察署と連携して交通事故防止に関する情報提供を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	21	自主防災組織率	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているかを見る指標	45.0%	19.1%			42.4%
関連指標	50	刑法犯認知件数	市内の犯罪発生状況を見る指標	↘ H25より減らす 148件	111件			△37件
	51	年間交通事故発生件数	交通安全の取組の成果を1月1日から12月31日までの美唄警察署管内の交通事故発生件数で見る指標	↘ H25より減らす 31件	49件			18件 超過

【 施策の達成(進捗)状況 】

防災については、台風接近に伴う集中的な大雨に対応するため、災害対策本部を設置して災害予防及び災害応急対策を実施した。また、地域防災計画に基づき、自主防災組織の設立促進に努めるとともに、自主防災組織や町内会などで防災講座を開催するなど、防災教育の実施により防災意識の向上を図った。さらに、非常用食料品や災害備蓄用毛布、ストーブなどの災害用備蓄品等の整備を行った。引き続き、災害用備蓄品等の整備を計画的に進めるとともに、自主防災組織の防災訓練に対する支援などを通して、自主防災組織の組織化を推進し、災害に強い安全で安心な地域づくりを進めていく。

防犯については、指標としている美唄警察署管内の刑法犯認知件数は年々減少を続けている。美唄警察署や地域安全活動推進協議会、自主防犯パトロール隊と協力しながら、さらなる防犯活動を推進していく。

交通安全については、平成25年以降交通事故発生件数は増加を続け目標の達成には至っていない。美唄警察署による交通事故の事故要因の分析と対策を進めるとともに、市民が交通事故にあわないよう、特に児童や高齢者を対象とした交通安全教室の開催に力を入れていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	地域防災事業	危機管理対策室	6,730	現状維持	現行の内容が最適
2	地域安全活動補助事業	生活環境課	375	現状維持	現行の内容が最適
3	交通安全3ゼロ運動推進補助事業	生活環境課	898	現状維持	現行の内容が最適
4	交通安全対策事業	生活環境課	1,092	現状維持	現行の内容が最適
5	市民生活支援事務	生活環境課	708	現状維持	現行の内容が最適
6	遺家族等援護事務	生活環境課	264	現状維持	現行の内容が最適
7	防災資機材等整備事業	危機管理対策室	3,241	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	21	自主防災組織率	業務取得	自主防災組織加入世帯数／全世帯数
関連指標	50	刑法犯認知件数	業務取得	美唄警察署公表の刑法犯認知件数
	51	年間交通事故発生件数	業務取得	美唄警察署公表の人身交通事故発生件数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	５　安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	〔８〕安全づくり
施　　策	(22) 消防

【 主管課及び関係課 】

主管課：消防本部

【 施策の目指すべき姿 】

◎市民の安全・安心を守る消防体制ができている
　消防体制が維持され、火災予防の意識が普及し、救命処置を行う体制ができている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 火災予防
　火災を防ぎ、火災による被害を軽減するため、幼年消防クラブや婦人防火クラブをはじめ、事業所や一般家庭などに対する広報や啓発活動などを行い、火災予防意識の向上に取り組む。

２ 救急業務
　救急隊員の資質・技術の向上を図るとともに、医療機関との連携を強化し、迅速な救急搬送ができる体制づくりを進める。

３ 消防組織と装備
　消防組織は、消防需要や社会情勢などを分析し、より効果的・効率的な消防の業務の体制づくりを進める。また、消防団については、充実した組織体制と効果的で効率的な活動体制の構築を図り、消防隊と連携した実践的な訓練や研修を実施し、各種災害に対する知識と技術の向上を図る。
　消防分団庁舎は、防災拠点施設としての役割を勘案して、計画的な改築や改修を進めるとともに、各地域における適正な配置に努める。消防車両・消火栓・消防装備等は更新の目安となる年限を基に、修理履歴などを勘案して計画的に更新を進めるとともに、最新の技術に目を向け、より効果的・効率的な装備、資機材、車両の導入に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	22	出火率	火災予防の取組によりどの程度火災の発生が抑えられているかを見る指標	0.0%	3.1%			＋3.1ﾎﾟｲﾝﾄ 負数は目標値達成
関連指標	52	住宅用火災警報器設置率	火災防止のための家庭の対応状況を設置義務がある住宅用火災警報器の設置率で見る指標	100.0%	90.0%			90.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

火災予防については、春秋の火災予防運動を中心に住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理指導を行った。今後も事業所や一般家庭などに対する査察及び広報活動等を実施し、更なる設置普及啓発及び維持管理指導に努める。

救急業務については、高規格救急自動車の更新を行ったほか、救急業務の高度化への対応や救命率の向上を図るため、救急救命士の追加講習や再教育及び医療機関との連携強化を推進するとともに、市民への応急手当の知識・技術の普及促進のため救急講習会の開催に努めた。

消防装備については、道道拡幅に伴い旭分団詰所の移転更新整備を行うとともに、消火栓を新設及び更新し安定した消防水利の確保に努めた。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円)(H28決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	救急業務推進事業	消防本部	2,874	現状維持	現行の内容が最適
2	消防施設管理事業	消防本部	5,002	現状維持	現行の内容が最適
3	消防車両管理事業	消防本部	6,331	現状維持	現行の内容が最適
4	消防水利管理事業	消防本部	3,542	現状維持	現行の内容が最適
5	消防水利整備事業	消防本部	3,976	現状維持	現行の内容が最適
6	消防施設整備事業	消防本部	42,838	見直し	方法の工夫・改善
7	常備消防事業	消防本部	19,597	現状維持	現行の内容が最適
8	消防団運営事業	消防本部	36,524	見直し	方法の工夫・改善
9	火災予防推進事業	消防本部	507	現状維持	現行の内容が最適
10	高規格救急自動車整備事業	消防本部	26,148	終　了	休　止

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指　標	取得方法	算定式等
成果指標	22	出火率	業務取得	人口1万人当たり火災件数 (年間出火件数／総人口×1万人)
関連指標	52	住宅用火災警報器設置率	業務取得	住宅用火災警報器設置率

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	５　安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	〔９〕安心づくり
施　　策	(23) 消費者保護

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎消費者被害を未然に防ぐための体制が整っている
　消費者被害を未然に防ぎ、安心して消費者生活を送ることができるよう、必要な消費者情報を提供し、相談に適切に対応することができる体制が整っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 消費者保護体制の充実
　複雑・多様化する市民からの相談に対して、幅広い情報の収集や専門的知識に基づく情報の提供と、適切な解決策の提示を行うことができるよう、相談員を各種研修へ派遣するなど、相談員のスキルアップを図るとともに、消費者協会などの関係機関と協力して対応し、迅速な解決を図る。
　また、近年、悪質商法などの消費者被害は複雑かつ多様化してきており、被害者が個人で悪質事業者に立ち向かうことが極めて難しくなってきていることから、市や警察、消費生活センター、地域の安全・安心を守る様々な団体との連携を図っていく。

２ 消費者情報提供の充実
　全ての市民が安全な消費生活を送れるよう、「地域消費者被害防止ネットワーク」での情報を各種イベント時やホームページ、市広報紙で周知するとともに、PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)を活用し、全国の事例についても収集・発信し、消費生活センターの対応力を高めていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度(進捗度)
				H32	H28			
成果指標	23	消費者相談窓口を知っている市民の割合	消費者被害を未然に防止するために、相談窓口の場所をどの程度の市民が知っているかを見る指標	60.0%	46.5%			77.5%
関連指標	53	消費者相談件数	消費者被害を未然に防ぐために相談窓口をどの程度利用しているかを相談件数で見る指標	60件	86件			
	54	消費者生活展参加者数	消費者保護や商品情報等に対する関心がどの程度あるかを消費者生活展の参加者数で測る指標	220人	210人			95.5%

【 施策の達成(進捗)状況 】

消費者相談については、美唄市消費生活センター(美唄消費者協会に業務委託)に相談が寄せられているが、件数については、前年度に比べ4件減り、86件となった。
年々巧妙化する手口により相談内容も複雑化してきており、消費生活センターの存在価値も高まってきている。
今後も、相談員のスキルアップを図るとともに、消費生活展やパネル展、講演会などの開催、ホームページや広報紙などを活用することで、市民へ情報提供を行っていきたい。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H27決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	消費者保護対策事業	生活環境課	1,726	現状維持	現行の内容が最適
2	法律相談事務	生活環境課	870	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	23	消費者相談窓口を知っている市民の割合	まちづくり 市民アンケート	商品購入トラブルや訪問販売での困りごとなど、市内の相談窓口を知っていますか。　1.はい　2.いいえ 1の回答者数／全回答者数
関連指標	53	年間消費者相談件数	業務取得	消費者相談件数
	54	消費者生活展参加者数	業務取得	消費者生活展参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	５　安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	〔９〕安心づくり
施　　策	(24) 雇用対策

【 主管課及び関係課 】

主管課：経済振興課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して働ける職場環境がある
　求職者の個性と能力が生かされる環境が構築され、事業主と従業員が理解・協力し合い、安心・安全な雇用・就業環境が形成される。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　雇用環境
　企業誘致活動や地域資源を活用した産業の6次化に向けた取組を戦略的に取り組むとともに、女性、若者、シニア世代の就労の場の創出に努めながら、若者の雇用や優秀な技術を有するリタイア世代の再就職支援を図るため、事業主に対して、国の雇用奨励助成制度や道の雇用支援制度、市の人材育成支援制度の活用について、積極的にPRするとともに、実習生の受入や実際の地場企業の経営者による講演会の実施について、積極的に働きかけ、次の世代を担う子ども達の職業観の育成や起業意欲の醸成を図る。
　また、子育て世帯が安心して就労できるよう、子育て支援策の拡充や保育環境の整備を進めるとともに、美唄市シルバー人材センターによる高年齢者の就業機会確保対策に対し支援するほか、ハローワークや企業と連携し、体験就労を含めた、様々な障がい者サポートなどを通じ、障がい者雇用の拡充に努める。

２　就業環境
　ハローワーク等、関係機関と連携し、事業者に対して、労働基準法や最低賃金法、労働安全衛生法で定めている労働時間・年次有給休暇や賃金、労働者の安全と健康確保対策について遵守するよう働きかけるほか、美唄市勤労者共済会への支援を通じ、雇用及び福利厚生事業の充実を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	24	職業紹介者の就職率	求人情報提供や職業紹介の成果を見る指標	40.0%	35.1%			87.8%
関連指標	55	美唄市ふるさとハローワーク月平均利用者数	求職者が美唄市ふるさとハローワークの求人情報をどの程度利用しているかを見る指標	推移を見る指標なので目標値は設定しない	582人			
	56	技能講習等受講者数	就業のための技能習得の状況を、市が指定する研修機関で受講した人数から見る指標	59人以上	11人			△ 48人

【 施策の達成(進捗)状況 】

「ふるさとハローワーク」での職業紹介者の就職率は35.1%となっており、目標値を達成しているものの、依然として求人側と求職者の雇用のミスマッチについては課題があることから、引き続き、美唄地域人材開発センターで実施される技能講習(玉掛、フォークリフト、溶接等)を通じて資格取得することができるよう支援し、新たな雇用につなげていくとともに、ハローワークなど関係機関と連携のもと、就職相談、求人情報の提供のほか、企業に対しては、国の雇用奨励制度などの活用をPRし雇用創出を図っていく。

また、若年者の就業支援や職場定着の促進を図るため、南空知地域雇用対策協議会(岩見沢市・美唄市・三笠市・月形町)が行う模擬面接等、各種就職セミナーなどを通じて、新規高校卒業者等の就職を促進していくとともに、合同企業説明会を開催し、地元企業の雇用確保と推進を図る。

なお、美唄市季節労働者通年雇用促進協議会と連携し、季節労働者の通年雇用化を促進していくこととする。

勤労者にとって働きやすい環境を整えるため、勤労者の生活安定や福利厚生の充実を図るとともに、今後とも勤労者向けの融資制度や福祉共済の支援を継続するほか、職業能力開発講座や技能取得講座など、企業が行う人材育成の取組への支援を拡充した。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	ふるさとハローワーク就労促進支援事業	経済振興課	6,336	現状維持	現行の内容が最適
2	地域人材開発センター運営事業	経済振興課	13,000	見直し	方法の工夫・改善
3	求職者等職業能力開発支援事業	経済振興課	291	見直し	方法の工夫・改善
4	季節労働者通年雇用促進支援事業	経済振興課	125	見直し	方法の工夫・改善
5	勤労者共済会補助事業	経済振興課	2,141	見直し	方法の工夫・改善
6	労働相談補助事業	経済振興課	75	現状維持	現行の内容が最適
7	労働総務一般管理事務	経済振興課	3	現状維持	現行の内容が最適
8	シルバー人材センター補助事業	高齢福祉課	8,780	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指 標	取得方法	算 定 式 等
成果指標	24	職業紹介者の就職率	業務取得	美唄市ふるさとハローワークで職業紹介を受けた人のうち、実際に就職に結びついた人の割合
関連指標	55	美唄市ふるさとハローワーク月平均利用者数	業務取得	美唄市ふるさとハローワーク年間利用者数／12ヶ月
	56	技能講習等受講者数	業務取得	美唄人材開発センターの技能講習を受講した人数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	５　安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	〔９〕安心づくり
施　　策	(25) コミュニティ

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域福祉課

関係課：総合政策課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地域でのささえあいと人材育成が活性化している
　様々な地域課題やニーズに対応できるよう、事業者やボランティア等の活動を支援し、地域社会の絆「ささえあい」活動の拡大と地域の人材育成が行われている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１　地域福祉の推進
　全ての市民が、住み慣れた地域で、ともにささえあい、安心して暮らし続けられる地域コミュニティの形成を目指して、市民一人ひとりの自立と地域住民のささえあいや行政の施策が相互に連携を図り、住民の地域活動の自立を支援するしくみを創設していく。

２　地域の活力づくり
　地域課題の認識や相互理解による連携など、市民、地域、団体、社会福祉協議会、市がそれぞれの役割の中で、実情にあった施策を講じるよう努めていく。

３　過疎対策
　地域の課題解決のために市職員が取り組む「地域応援チーム」の制度活用や乗合タクシーによる公共交通の確保により既存集落の機能維持のための支援に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	25	地域活動に参加している市民の割合	コミュニティ活性化の取組がどの程度地域活動につながっているかを見る指標	↗ H25より高める 65.2%	58.0%			△ 7.2 ﾎﾟｲﾝﾄ
関連指標	57	町内会活動を必要と感じる市民の割合	地域活動によるコミュニティが必要とする度合いを測る指標	↗ H25より高める 77.4%	71.8%			△ 5.6 ﾎﾟｲﾝﾄ
	58	保健福祉活動を行っている地区数	地域福祉の充実度を自主的又は市と協働で保健福祉活動を行っている地区数から見る指標	↗ H25より増やす 55地区	35地区			△ 20地区

【 施策の達成(進捗)状況 】

住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らし続けられるため、市が策定する地域福祉計画と社会福祉協議会の地域福祉実践計画を基に、地域福祉会館や総合福祉センターを活動の拠点にして地域住民やボランティア団体、福祉のまちづくり補助金を活用して、共にささえあう自主的な活動に継続して取り組んできた。

成果指標では地域活動に参加している市民の割合は、7.2ポイント、町内会活動を必要と感じる割合で5.6ポイントそれぞれ減少し、日本社会における交流希薄化、無縁社会といった地域活動の低下が見られるが、地域共生社会の実現に向け、地域活動を支援する施策や地域福祉の推進を図るうえで地域福祉推進大会の開催や啓発活動の普及に努める。

地域応援チームの活動では、市の管理職員で構成する各地域の担当者が、町内会長等と連携を図り、ご自宅への訪問などを通して地域の事情や課題などを把握するとともに、市の情報提供や地域の活動などの情報を収集するなど、情報の共有を図るための活動を実施した。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	地域福祉ネットワーク事業	地域福祉課	40	現状維持	現行の内容が最適
2	地域福祉会館管理運営事業	地域福祉課	5,840	現状維持	現行の内容が最適
3	社会福祉協議会運営補助事業	地域福祉課	17,620	現状維持	現行の内容が最適
4	民生児童委員活動事業	地域福祉課	7,096	現状維持	現行の内容が最適
5	総合福祉センター管理運営事業	地域福祉課	8,596	現状維持	現行の内容が最適
6	総合福祉センター整備事業	地域福祉課	14,396	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	25	地域活動に参加している市民の割合	まちづくり市民アンケート	町内会・自治会の行事やあなたが暮らす地域の行事に参加していますか。 1.参加している　2.ときどき参加している　3.参加していない 1.2の回答者数／全回答者数
関連指標	57	町内会活動を必要と感じる市民の割合	まちづくり市民アンケート	町内会・自治会の活動は必要だと思いますか。1.必要だと思う 2.必要とは思わない 1の回答者数／全回答者数
	58	保健福祉活動を行っている地区数	業務取得	市内各地域で保健福祉活動を自主的又は市と協働で行っている地区数(地域ささえあい懇談会、子供懇談会、地域福祉推進大会、まちづくり事業補助数、貯筋体操自主グループ数、びばいっ子フェスティバル、地域主体健康づくり事業団体数など)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間	平成28年度末

【 第６期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

６つの柱	６　みんなで力を合わせるまちづくり
施策の柱	〔10〕地域経営の確立
施　　策	(26) 協働のまちづくり

【 主管課及び関係課 】

主管課：総合政策課

関係課：秘書広報課、
サテライト・キャンパス推進室

【 施策の目指すべき姿 】

◎たくさんの人たちがまちづくりに積極的に参画している
意欲的にまちづくりに関わる人たちが増えていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

１ 協働のしくみづくり

まちづくりへの参画を促すため、様々な情報を発信・共有することが重要であることから、広報紙やホームページなどの広報活動や自治組織代表者会議、まちづくり地区懇談会、地域応援チームなどの広聴活動を行うとともに、美唄サテライト・キャンパスや子育てサポーターを通じて、さらなる積極的で意欲的な協働のまちづくりを担う「人財」の育成と協働のまちづくりに向けた取組を進めていく。

２ 新しい公共の創出

地域や各団体が行っている防災・防犯や高齢者の見守りなどの取組、それぞれが持つ特性、ノウハウを広報紙やホームページなどを通じて、市民や各種団体、企業などと情報の共有を図ることで、地域や各団体の活動が活発化するとともに、信頼関係を深め、市民サービスの向上につながるよう地域との連携を深めていく。

３ 地域主権

地域主権では、地域のことは地域に住む住民が責任を持ってまちづくりを決めていくことが求められていることから、市職員は、自治の基本である「自律性」をもって、地域の新たな「存在価値」を見い出し、事業の「選択と集中」、「創意と工夫」を図り、地域力の向上に向けた取組を進めていく。

また、地域の安全・安心を確保するため、医療や防災、情報化など、管内市町との広域的な連携を進めていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指　標	指　標　の　説　明	目標値	実績値			達成度（進捗度）
				H32	H28			
成果指標	26	まちづくり参画度	協働のまちづくりの成果として、市民がまちづくりにどの程度参画しているかを見る指標	30.0%	14.3%			47.7%
関連指標	59	美唄サテライト・キャンパスまちづくりを担う人材養成講座参加者数	協働のまちづくりを進める際に必要な人材育成のための講座への参加者数により協働のまちづくりの浸透度を測る指標	100人	23人			23.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

協働のしくみづくりの成果を示す指標「まちづくり参画度」は、平成24年度、平成25年度については目標値を満たしていたが、平成26年度以降は目標値を下回っており、様々な主体が参加する協働のまちづくり全体としてやや停滞傾向にあるものと考える。

今後は、市政に関わる様々な情報をより積極的に発信して、市民との情報の共有を進めるとともに、地域応援チーム制度や美しきまちづくりサポーター制度などの取組を通じて、市民のまちづくりへの参画をさらに一層進めて行く。

協働のまちづくりを支える人材の育成については、市内の地域資源を生かしながら、札幌国際大学、札幌大学、札幌大谷大学等の協力をいただき、地元において専門教育や高等教育を受ける機会を提供することを目的として、平成24年度から実施している美唄サテライト・キャンパスにより人材の育成を図ってきている。目安となる指標「まちづくりを担う人材養成講座」の平成28年度の受講者数は、講座の開講数が減少した影響から、目標値を下回る結果となった。今後は、市民ニーズを踏まえ、より魅力ある講座構成とすることで、受講者数を回復させる必要がある。

市政を全市的な視点で総合的に推進するため、市長・副市長・教育長をはじめ各部長職を構成員とする美唄市経営会議を平成23年11月に設置した。今後とも、毎月の経営会議において、市全体の様々な動きや市民要望などを把握し、各部局の情報の共有化を図り、地域の課題に迅速に対応できるよう努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H28決算額)	事務事業評価 事務事業の今後の方向性	
1	情報公開・個人情報保護制度運営事務	秘書広報課	13	現状維持	現行の内容が最適
2	広報事務	秘書広報課	18,488	見直し	拡 充
3	広聴事務	秘書広報課	142	現状維持	現行の内容が最適
4	事務事業評価システム推進事業	総合政策課	131	現状維持	現行の内容が最適
5	企画一般事務	総合政策課	975	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指 標	取得方法	算 定 式 等
成果指標	26	まちづくり参画度	まちづくり 市民アンケート	あなたは、何かのかたちでまちづくりに参加していますか。 1.積極的に参加している 2.参加している 3.どちらともいえない 4.参加していない方である 5.参加していない 1.2の回答者数／全回答者数
関連指標	59	美唄サテライト・キャンパスまちづくりを担う人材養成講座参加者数	業務取得	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」受講者数

びばい未来交響プラン「まちづくり成果指標」一覧

施策とまちづくり成果指標	指標の説明	H32目標値	H28	達成(進捗)度
1 農商工連携 新たに商品化された特産品数	農商工連携の取組の成果を、新たに商品化された特産品数で測る指標	15 商品 H23～32の累積	7 商品	46.7 %
2 農業振興 農業総販売額	農業振興の成果を農産物の総販売額から見る指標	56 億円	(H27) 54 億円	96.4 %
3 商工業振興 工業出荷額	工業振興の成果を工業出荷額の総額で見る指標	192.0 億円	(H27) 158.7 億円	82.7 %
4 観光・交流 観光入込客数	観光振興・交流推進の成果を観光入込客数で見る指標	90 万人	30 万人	33.3 %
5 公共交通 市内公共交通の満足度	日常生活で公共交通がどの程度充足しているかを見る指標	70.0 %	64.1 %	91.6 %
6 情報化推進 光回線普及率	情報化を進めるための環境がどの程度整っているかを見る指標	100.0 %	93.7 %	93.7 %
7 子育て支援 子育てしやすいまちだと思う市民の割合	美唄市がどの程度子育てしやすい環境にあるかを市民の視点から見る指標	60.0 %	29.0 %	48.3 %
8 学校教育 家庭学習を毎日１時間以上行っている子どもの割合	学力向上のため、子どもたちが家庭学習の習慣を身につけているかを見る指標	↗ H25より高める 小学生 46.9% 中学生 50.9%	小学生 27.4 % 中学生 51.6 %	小学生 △19.5ポイント 中学生 +0.7ポイント
9 芸術・文化・生涯学習 生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	生涯学習施設や情報を提供することにより、活動の機会が得られているかを見る指標	50.0 %	40.8 %	81.6 %
10 男女共同参画 固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	男女共同参画の考え方の浸透度を測る指標	60.0 %	59.9 %	99.8 %
11 平和施策 平和祈念行事数	平和について考える契機となる行事の数から、平和施策の継続した取組状況を測る指標	4 件	4 件	100.0 %
12 自然保護 市内の自然環境の満足度	自然環境の保全と活用の取組の成果を市民の満足度から見る指標	↗ H25より高める 85.3%	84.7 %	△0.6ポイント
13 環境行動 地球にやさしい生活をしている市民の割合	環境への負荷を減らす取組の成果を具体的な行動を行っている市民の割合から見る指標	↗ H25より高める 79.1%	75.6 %	△3.5ポイント
14 ごみ処理 ごみの適正分別率	ごみの適正な排出に関する意識の向上と実践度を見る指標	90.0 %	77.3 %	85.9 %

15 都市基盤整備 都市機能の満足度	都市基盤整備の成果をＪＲ美唄駅を中心とした都市機能に対する満足度から見る指標	 H25より高める 68.3%	63.6 %	△4.7ポイント
16 景観・緑づくり 公園管理ボランティア実施回数	地域が主体となった景観づくりの実践状況を見る指標	 H25より高める 28回	22 回	78.6 %
17 保健 自分が健康だと思う市民の割合	健康づくりの取組により自分が健康だと思う市民がどの程度いるかを見る指標	70.0 %	71.1 %	101.6 %
18 地域医療 人口10万人当たり医師数	市内の医師数を他市町村と比較するため、人口10万人に換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	（ H26 ） 185.7 人	
19 障がい者福祉 地域で生活できている障がい者の割合	障がい者の自立に向けた取組の成果を地域で生活できている障がい者の割合で見る指標	96.7 %	（ H26 ） 96.0 %	99.3 %
20 高齢者福祉 自立高齢者率	保健や介護予防の取組により要介護者がどの程度抑えられているかを見る指標	82.0 %	81.6 %	99.5 %
21 防災・防犯・交通安全 自主防災組織率	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているかを見る指標	45.0 %	19.1 %	42.4 %
22 消防 出火率	火災予防の取組によりどの程度火災の発生が抑えられているかを見る指標	0.0 %	3.1 %	+3.1ポイント
23 消費者保護 消費者相談窓口を知っている市民の割合	消費者被害を未然に防止するために、相談窓口の場所をどの程度の市民が知っているかを見る指標	60.0 %	46.5 %	77.5 %
24 雇用対策 職業紹介者の就職率	求人情報提供や職業紹介の成果を見る指標	40.0 %	35.1 %	87.8 %
25 コミュニティ 地域活動に参加している市民の割合	コミュニティ活性化の取組がどの程度地域活動につながっているかを見る指標	 H25より高める 65.2%	58.0 %	△7.2ポイント
26 協働のまちづくり まちづくり参画度	協働のまちづくりの成果として、市民がまちづくりにどの程度参画しているかを見る指標	30.0 %	14.3 %	47.7 %